

取扱説明書

GBR5

GBR7

GBR10

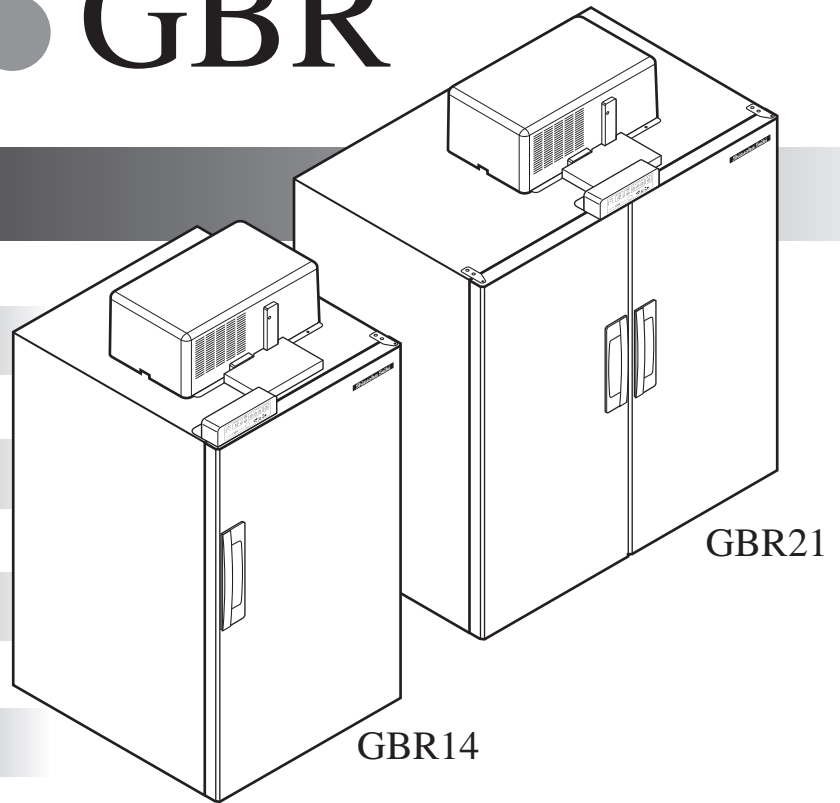
GBR14

GBR20

GBR21

GBR28

GBR32



目次

ご使用の前に	1	4.2.10 結露について	18
機械の型式名のご確認	2	4.2.11 ドアの密閉について	19
1.まえがき	3	4.2.12 カギについて	19
2.安全について		4.2.13 可倒式中仕切について	19
2.1 警告用語の種類と意味	4	4.2.14 ナノチタン/カーボンについて	20
2.2 安全に作業を行うための注意事項	5	4.2.15 足元灯/閉め忘れ防止ブザーについて	20
2.3 警告表示ラベルについて	7	5.点検と掃除と廃棄	
2.3.1 警告表示ラベルの貼付位置	7	5.1 点検箇所と方法	21
2.3.2 警告表示ラベルの内容	7	5.1.1 庫内温度の点検	21
3.機械の仕様、構成、使用範囲		5.1.2 吸込口の点検と掃除	21
3.1 機械の仕様	8	5.1.3 設置場所室温の点検	21
3.1.1 主要諸元	8	5.1.4 長期間使用しないとき	21
3.1.2 機械の据付寸法図	9	5.2 掃除箇所と方法	22
3.2 機械の構成	11	5.3 貯蔵庫の廃棄について	22
3.3 機械の使用範囲	11	6.組立要領	
4.機械の使用		6.1 組立の前に	23
4.1 使用上の注意事項	12	6.2 組立の手順	23
4.2 使用方法	13	6.2.1 設置スペース	23
4.2.1 電源の接続について	13	6.2.2 組立・設置に必要な工具類	24
4.2.2 庫内冷却について	13	6.2.3 梱包部品の確認	24
4.2.3 庫内温度・庫内湿度の設定と表示について	14	6.2.4 貯蔵庫の設置	25
4.2.4 庫内湿度と温度調節の範囲及び代表的な用途	15	6.2.5 冷蔵ユニット・排水ホースの組付け	26
4.2.5 霜取りについて	15	6.2.6 操作ボックスの組付	27
4.2.6 エラーコード表示	15	6.2.7 アジャストボルトの調整	28
4.2.7 排水について	16	6.2.8 電源の確認	30
4.2.8 貯蔵品の入れ方について	16	6.3 組立後の確認	30
4.2.9 玄米の貯蔵について	17	7.困ったときには	31
		8.連絡先	33

ご使用前に

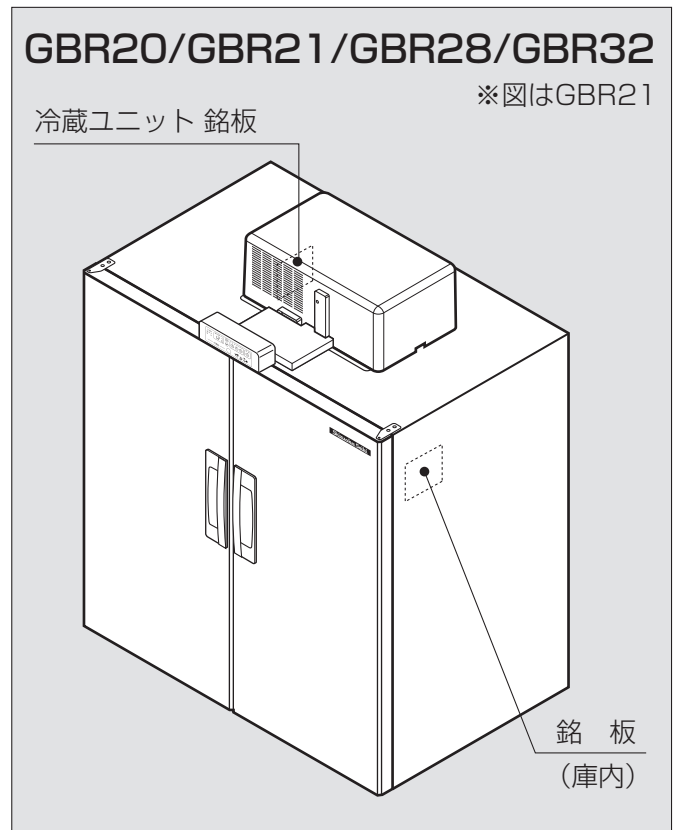
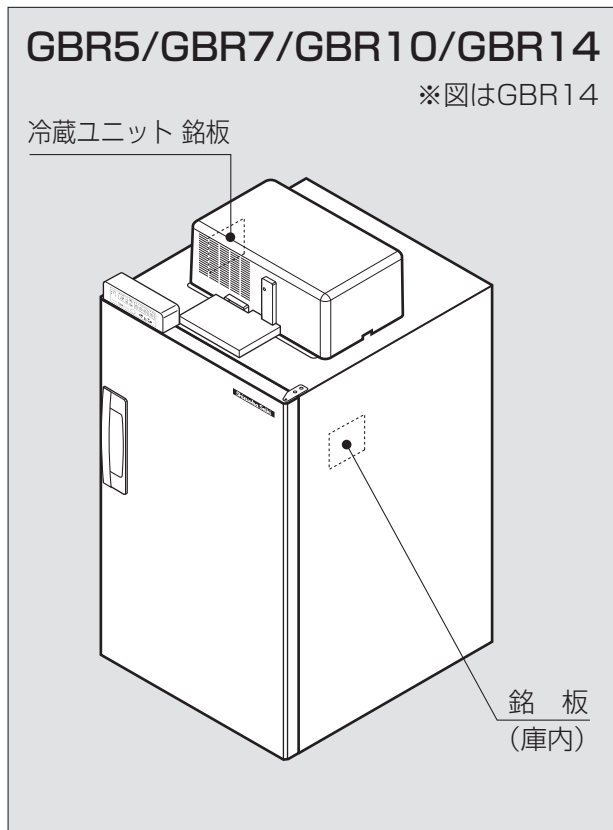
- 1.この機械を使用する前に、この取扱説明書を十分にお読みください。
その上で、取扱説明書に従って運転操作、保守・点検を行ってください。
- 2.この取扱説明書に記載してある注意事項や機械に表示してある注意事項は、発生しうる全ての危険を予測、想定できているわけではありません。
従って機械の運転、保守・点検および組立を行う場合は、取扱説明書の記載および機械に表示してある事項に限らず、安全対策には十分に配慮してください。
- 3.この取扱説明書についてご不明な点がございましたら、購入先または弊社の営業所か、本社農機営業部にお問い合わせください。
- 4.この取扱説明書は、必要なときにいつでも調べられるように、大切に保管してください。
紛失した場合は、購入先へ注文してください。
- 5.この機械の組立にあたっては、この取扱説明書の（6.組立要領）の項をよくお読みいただき、内容を十分に理解された上で、安全に注意して組立してください。

機械の型式名のご確認

機械の型式名と機体番号が銘板に記載されています。

ご確認の上、保証書の記入欄に書入れてください。

購入先に点検、修理を依頼したり、部品を注文される時は、この型式名を一緒にご連絡ください。



1 まえがき

この章では、取扱説明書の記載内容、機械の使用目的・使用範囲、機械の構成及び使用電源について説明しています。

1.取扱説明書の記載内容

この取扱説明書には、機械の取扱安全事項、仕様、運転操作、保守・点検、組立要領の説明が記載されています。

2.機械の使用目的・使用範囲

この機械は、**玄米（農産物）保冷库**として設計されています。

保冷できるものについては取扱説明書裏表紙に記載してありますので、ご参照願います。

保冷できるもの以外は、入れないでください。

玄米を貯蔵する場合は2年間程度が限度です。

玄米水分で16%以下に乾燥させたものを紙袋に入れて貯蔵してください。

野菜、果物は種類によって貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。

お近くの指導機関又は、購入先におたずねください。

野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度です。

野菜類の予冷（急速に冷却する）には冷却能力が足りませんので使用しないでください。

3.機械の構成

この機械は、本体と冷蔵ユニット、すのこで一式になっています。

4.使用電源

この機械の使用電源は、**単相100V**で、電源電圧が90～110Vの範囲でご使用になれます。

200V電源では、絶対に使用しないでください。

インバーター電源等は使用できません。必ず、商用電源を使用してください。

2 安全について



この機械を取扱う前に必ずお読みください。

この章では、警告用語の種類と意味、機械の取扱全般についての注意事項及び警告表示ラベルについて説明しています。

2.1. 警告用語の種類と意味

取扱説明書の警告内容及び機械本体に貼付してある警告ラベルは、危険の度合に従って次の2段階に分けています。

この警告用語の意味を理解していただき、取扱説明書の内容に従って、運転操作、保守・点検、組立を行ってください。

危険等を喚起する表示・標識の種類	喚起する内容
	「警告」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 死亡又は重傷事故 につながることもあり、 十分ご注意ください いたきたい内容です。
	「注意」の文字の下に書かれている事柄は、その内容を守らないと、 ケガなどの事故 につながることもあり、 ご注意ください いたきたい内容です。

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項は、この取扱説明書の中で下記のように書いて、上の警告事項とは区別しています。

重要

この機械の取扱全般について、特に留意していただきたい事項について示しています。

注意

一般的な留意事項

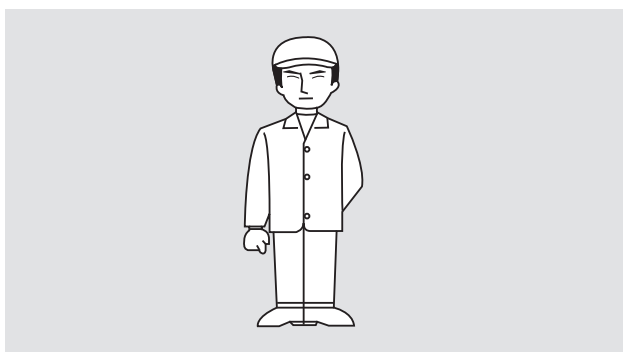
 **注意**

- この機械の運転操作、保守・点検、組立は必ずこの取扱説明書に従って行ってください。
- 取扱説明書の内容で不明な点がありましたら、購入先または、弊社営業所にお問合せ、確認してから作業を始めてください。

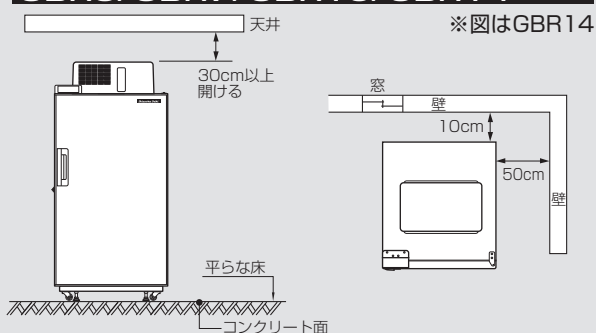
2.安全について

2.2.安全に作業を行うための注意事項

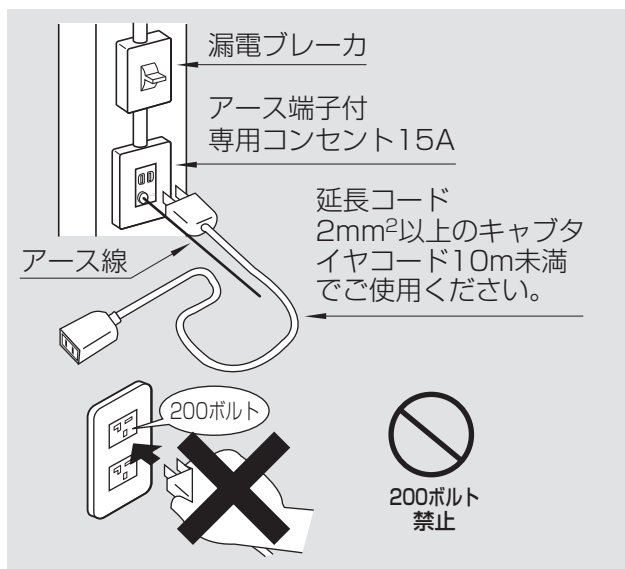
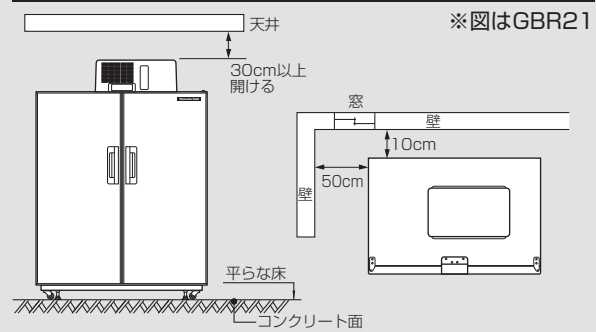
安全に作業を行うために次の注意事項を守ってください。



GBR5/GBR7/GBR10/GBR14



GBR20/GBR21/GBR28/GBR32



1

作業者の服装と健康

- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 過労や病気、酒気おびの状態では作業しないでください。
- 米袋の積み降ろし時などに、腰をいためないようにしてください。
また、台の上に乗っての積み降ろし作業などはしないでください。台から落下してケガをすることがあります。
- 頭や足などをぶつけないよう、注意して作業をしてください。

2

作業場の整備

- この機械は屋内設置用として設計・製作されていますので、屋根のある風通しの良い場所に設置してください。
- 設置場所は平らな所で、ひずみのないしっかりした床面を選んでください。土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。
- 直射日光が本体に当たらないようにしてください。
- 機械の回りにスペースを確保してください。
- 換気の悪い場所に設置しないでください。
万一冷媒が漏れると、酸素欠乏のおそれがあります。

3

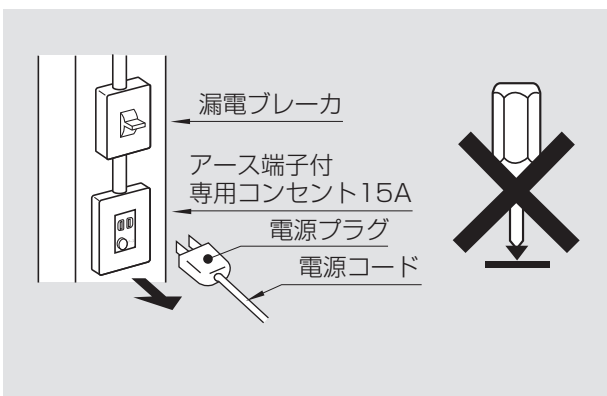
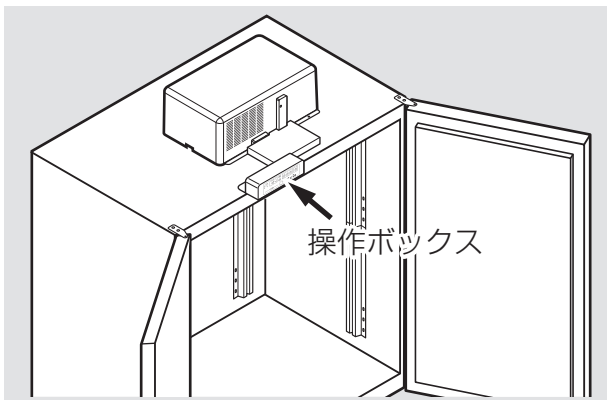
電源配線とアース

- この機械は交流100V専用です。
- 交流200Vは絶対に使用しないでください。
- 機械の電源は感電事故防止のために、漏電ブレーカ(定格電流15A/定格感度電流30mA)があるコンセント(15A)から配線してください。
- 延長コードは電圧降下を防止するために2mm²以上の太さで、10m未満の長さにしてください。
- 他の機械とのたこ足配線は、絶対にしないでください。
- 感電事故防止や機械の誤動作防止のため、アース線の接続をしてください。

重要

上記の配線になっていない場合は、購入先か電気工事店にご相談ください。

4 使用中の安全



- 南京錠は別売りです。必要に応じて別途購入してください。
- 子供が庫内に入ってドアを閉めた場合、子供の力では開かないことがあります。
- カギを掛ける時は、庫内に人が入っていないことを確認してください。
- ドアは取手を持って閉めてください。取手以外を持って閉めると、ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
- 2枚ドアの中央部や、ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。
- 本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり、物を置いたりしないでください。転落したり、物が落下して、ケガをすることがあります。また、機械が変形することがあります。
- 上部の操作ボックスに頭をぶつけないようにしてください。ケガをすることがあります。

5 掃除・点検・整備の時の安全

- 各部の掃除、点検をする場合は、必ず元電源を切ってから行ってください。
- 電源コードは電源プラグを持って抜き差ししてください。また、ぬれた手で抜き差ししないでください。
- 修理技術者以外の方は、絶対に分解や修理、改造を行わないでください。感電・火災・ケガ・故障の原因になります。

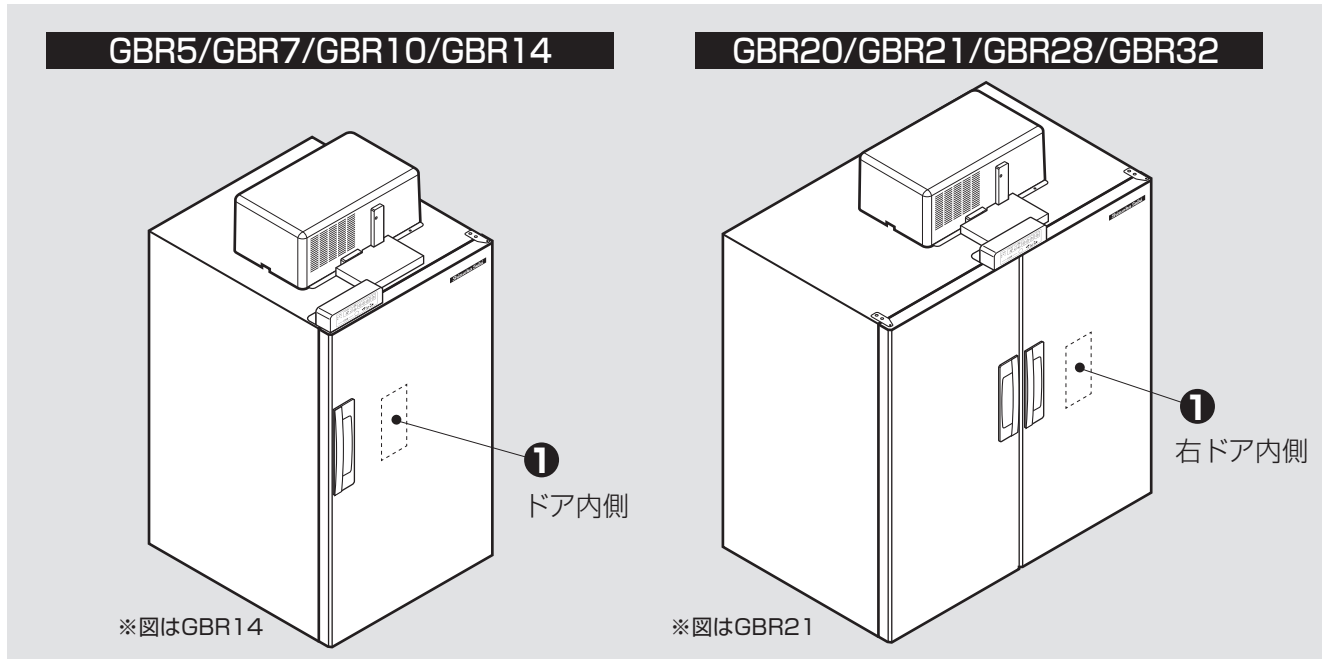
2.安全について

2.3.警告表示ラベルについて

機械の特に注意を要する箇所に取り扱いについて記した警告表示ラベルが貼ってあります。これらの位置と内容をよく確認し、守って安全作業を行ってください。

2.3.1.警告表示ラベルの貼付位置

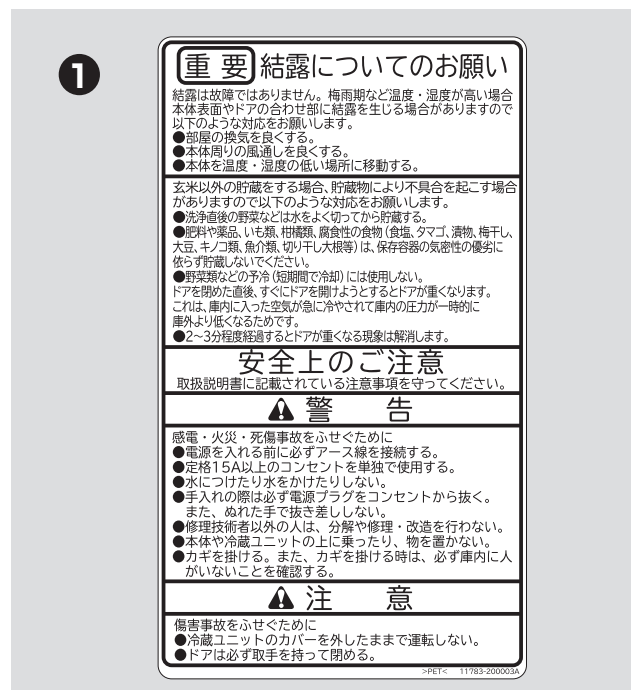
警告表示ラベルの貼付位置は次の通りです。



図面表示番号	標識	名 称	貼 付 位 置	品 番
1	警告 注意	本体警告・注意ラベル	ドア内側	11783-200003

2.3.2.警告表示ラベルの内容

警告表示ラベルの内容は次の通りです。
警告表示ラベルが汚れ、破れなどで見にくくなったときは新しいラベルに貼り替えてください。
ラベルは購入先へ注文してください。



③ 機械の仕様、構成、使用範囲

この章では、機械の仕様、構成、使用範囲について説明しています。

3.1. 機械の仕様

3.1.1. 主要諸元

機械の主な仕様は次の通りです。

項目		農産物低温貯蔵庫			
型式		GBR5	GBR7	GBR10	GBR14
寸法	外寸 (奥行×幅×全高) (mm)	890×646×1470	890×646×1810	975×886×1470	975×886×1810
	本体 (奥行×幅×全高) (mm)	890×646×1230	890×646×1570	975×886×1230	975×886×1570
	内寸 (奥行×幅×全高) (mm)	750×500×1000	750×500×1340	835×740×1000	835×740×1340
有効容積 (ℓ)		348	475	573	783
製品質量 (kg)		57	66	71	82
貯蔵量	玄米袋 (30kg)	5	7	10	14
	野菜コンテナ	3	4	6	8
電源 (V/Hz)		単相100V・50/60Hz			
消費電力 (W)		150/165(50/60Hz)			
冷媒		R1234yf			
制御温度 (庫内) (°C)		2~20			
制御湿度 (庫内) (%RH)		低湿50~75 高湿60以上			
使用周囲温度 (°C)		2~40			
使用周囲湿度 (%RH)		40~85 35°Cを超える場合 (40~60)			
付属品		すのこ・排水ホース			

項目		農産物低温貯蔵庫			
型式		GBR20	GBR21	GBR28	GBR32
寸法	外寸 (奥行×幅×全高) (mm)	975×1543×1470	890×1303×1810	975×1543×1810	975×1543×1980
	本体 (奥行×幅×全高) (mm)	975×1543×1230	890×1303×1570	975×1543×1570	975×1543×1740
	内寸 (奥行×幅×全高) (mm)	835×1420×1000	750×1180×1340	835×1420×1340	835×1420×1510
有効容積 (ℓ)		1099	1121	1502	1704
製品質量 (kg)		106	106	124	131
貯蔵量	玄米袋 (30kg)	20	21	28	32
	野菜コンテナ	12	12	16	16
電源 (V/Hz)		単相100V・50/60Hz			
消費電力 (W)		255/280(50/60Hz)			
冷媒		R1234yf			
制御温度 (庫内) (°C)		2~20			
制御湿度 (庫内) (%RH)		低湿50~75 高湿60以上			
使用周囲温度 (°C)		2~40			
使用周囲湿度 (%RH)		40~85 35°Cを超える場合 (40~60)			
付属品		すのこ排水ホース後付けアジャストボルト	すのこ・排水ホース	すのこ・排水ホース	後付けアジャストボルト

玄米 30kg 袋：高さ 160±10mm×幅 375±10mm×奥行 620±10mm

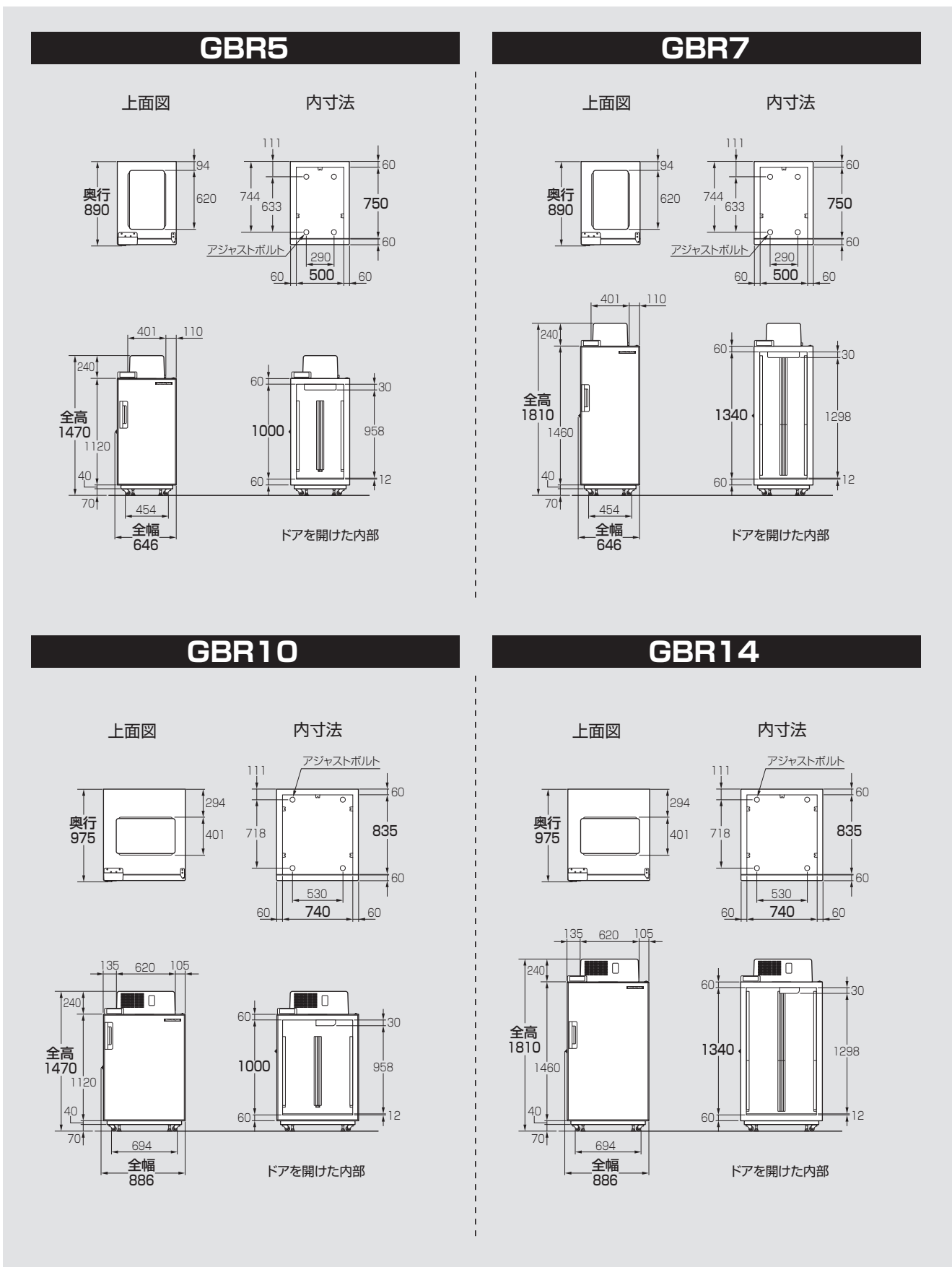
野菜コンテナの大きさ：高さ 310mm×幅 520mm×奥行 370mm 電源コードの長さ：3m

3.機械の仕様、構成、使用範囲

3.1.2.機械の据付寸法図

機械の主な据付寸法は次の通りです。

単位：mm



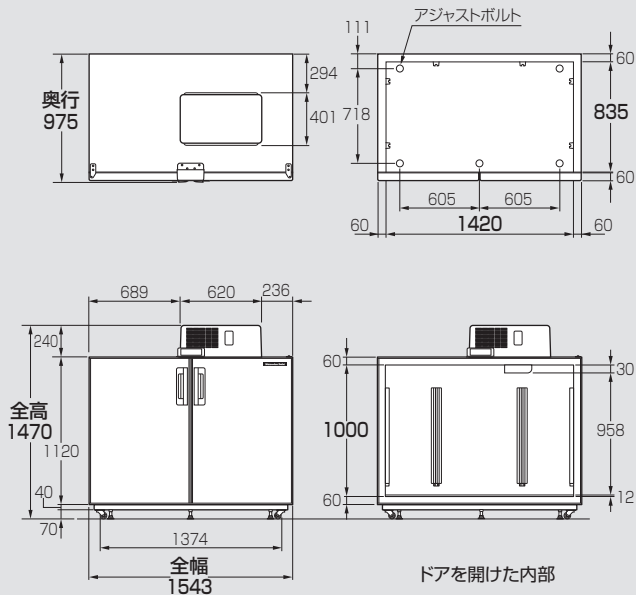
3.機械の仕様、構成、使用範囲

単位：mm

GBR20

上面図

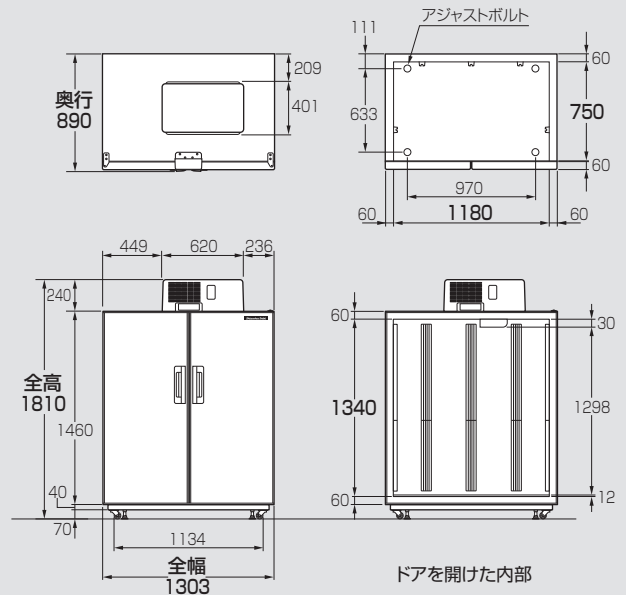
内寸法



GBR21

上面図

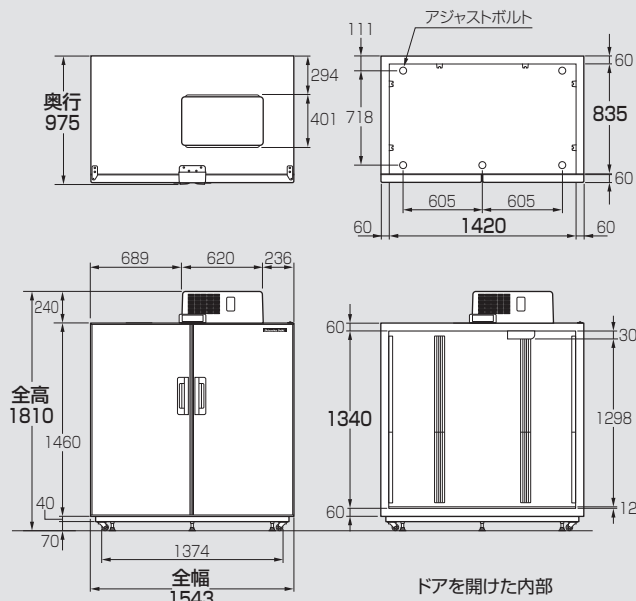
内寸法



GBR28

上面図

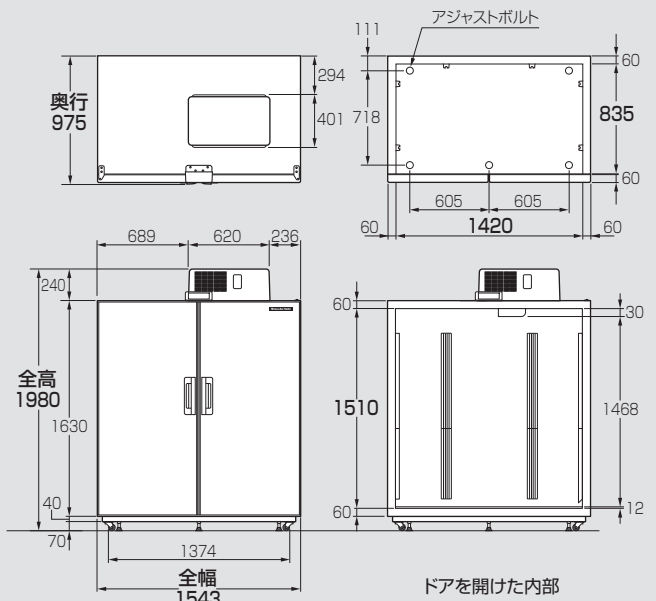
内寸法



GBR32

上面図

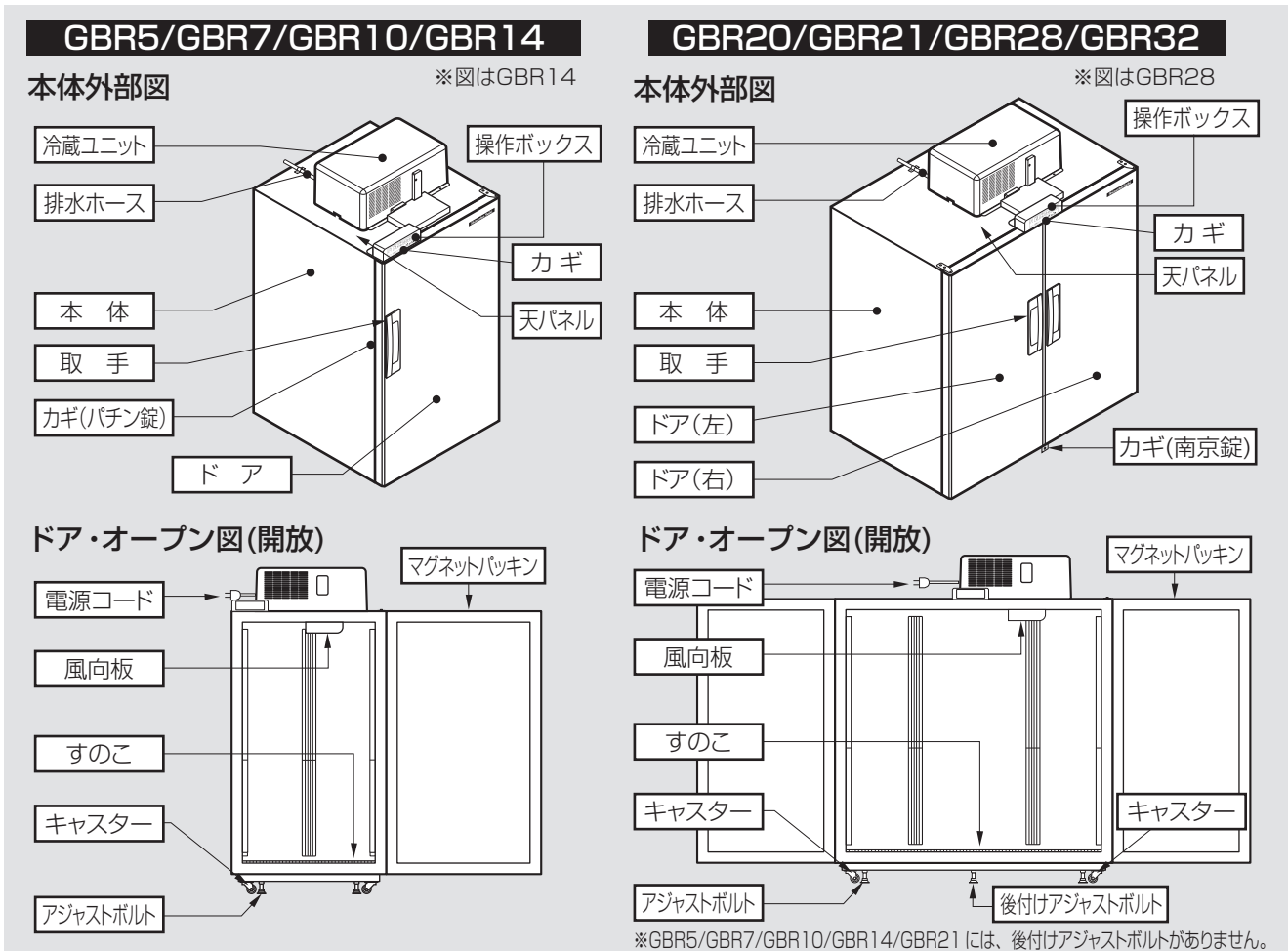
内寸法



3.機械の仕様、構成、使用範囲

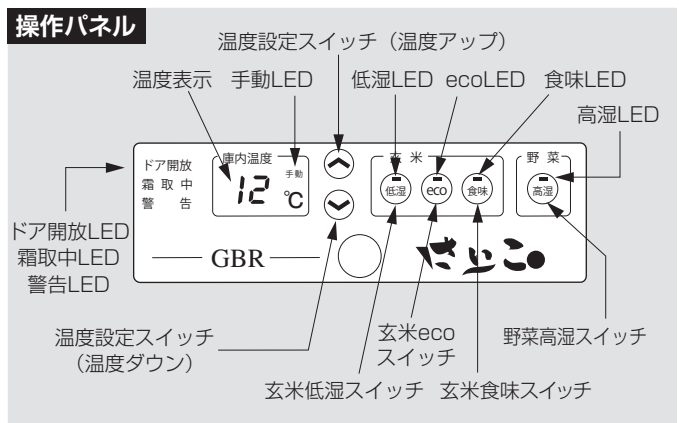
3.2.機械の構成

機械の構成を次に示します。



3.3.機械の使用範囲

- この機械は**玄米、野菜などの保冷库**として使用できます。
保冷とは、玄米、野菜などの温度が上がらないように低温に維持することをいいます。
- この機械は**予冷用としては使用できません**。予冷とは、短時間で野菜や果物などの温度を下げることをいいます。
この機械の冷却能力では、希望の時間内で野菜などの温度が下がらないことがあります。簡易的に使用する場合は、あらかじめ試験を行うなどして能力を確認した上で、ご利用ください。
- 野菜や果物を貯蔵するときは、その野菜や果物の貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。
- 野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は、3日間が限度です。
- この機械には**加温機能がありません**。
設定温度以下に外気温度が下がると庫内の温度も外気温度に応じて下がります。
ただし、本体の断熱性により、庫内表示温度と外気温度には、時間的なズレがあり、必ずしも同じ温度を表示するわけではありません。
- 設置場所を変える場合は、内部の貯蔵物を出してから移動してください。



4 機械の使用

この章では、機械の使用上の注意事項と使用方法について説明しています。

4.1.使用上の注意事項

この機械は屋内用に設計・製造されていますので、次の注意事項をお守りください。

注意事項

1.設置

- 1.雨や直射日光が当たらない所に設置してください。
- 2.風通しが良く、湿気の少ない所に設置してください。
- 3.床面がしっかりした、平らな所に設置してください。
- 4.本体の回りに保守スペースが取れる所に設置してください。
- 5.貯蔵庫の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。
- 6.ドアには上から力を加えないでください。



2.貯蔵

- 1.米を貯蔵する場合は、水分を16%以下にまで乾燥して、紙袋で貯蔵してください。(長期貯蔵は15%以下が良い。)
- 2.粳摺り、精米などを行う場合は、取り出して、外気温度と同じにしてから行ってください。
- 3.熱いものは外気温度と同じにしてから入れてください。
- 4.庫内の壁に密着して物を入れないでください。
- 5.ドアの開閉回数を少なくしてください。
- 6.貯蔵庫には、肥料など金属を腐食させるものを入れないでください。
- 7.ドア側にもものが倒れてこないように積んでください。ドアは最後までしっかり閉めてください。



3.掃除

- 1.冷蔵ユニットの吸込口は定期的に掃除をしてきれいにしてください。



注意事項が守れなかった場合の不具合

- 1.ショート・感電したりサビが発生することがあります。また、寿命が短くなったり、庫内の温度が上昇することがあります。
- 2.機械の周囲が湿り、本体外壁に水滴がつくことがあります。
- 3.振動音の発生や、ドアの密閉が悪くなり、冷気が漏れることがあります。貯蔵物の重量で床が変形し、ドアにすき間が出る場合があります。本体の水平がくずれて、庫内に水滴が落ちてくる場合があります。
- 4.冷蔵ユニットは点検と掃除が必要です。これを怠ると冷蔵ユニットの寿命が短くなります。
- 5.冷蔵ユニット内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。冷蔵ユニットが故障することがあります。
- 6.鍵がかからなくなります。本体とマグネットバッキンの間にすき間ができ庫内が結露したり、冷気が漏れることがあります。
- 1.玄米水分が高すぎるとたとえ低温でもカビが発生したり、玄米が固まったりすることがあります。また、袋に入れずに裸で貯蔵すると乾燥します。
- 2.粳、又は、玄米の表面に水滴がつき、玄米が割れたり、精米後、白米の表面がひび割れることがあります。
- 3.熱いものを冷やすのに時間がかかりますし、電気代もかかります。
- 4.冷気が循環できなくて、冷えない場所ができてしまいます。また壁に密着しているところは湿ります。
- 5.1日に何回もドアを開閉すると、庫内の湿度が上がります。庫内湿度が上がると、玄米水分が上がったりカビが発生したりすることがあります。ドアの開閉は20秒以内で、1日5回以下にしてください。短い時間(間隔)でドアの開閉をすると壊れる可能性があります。
- 6.冷蔵ユニット内部が腐食したり、鋼板が錆びることがあります。冷蔵ユニットが故障することがあります。
- 7.ドアが少し開いた状態になり、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまる場合があります。

4.機械の使用

4.2.使用方法

⚠ 警告

漏電ブレーカを取付けてください。

⚠ 注意

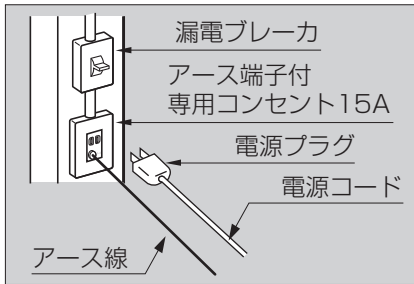
この機械は交流100V専用です。

⚠ 警告

交流200Vは絶対に
使用しないでください。



4.2.1.電源の接続について



電源コンセントに電源プラグを差し込むと、庫内温度表示部が点灯して、冷蔵運転を開始します。（冷蔵運転の開始は、庫内温度が設定温度より高い場合）

電源プラグを抜いて運転を停止したときは、**5分間以上停止したまま**にしてください。

運転・停止をひんぱんに行うと、冷蔵ユニットの故障につながります。

冷蔵ユニットを**5分間以上**傾けて移動した場合、平らな所に置いて

10分間以上経過してから電源コンセントに電源プラグを差し込んでください。冷蔵ユニットを傾けてから**10分間以内**に電源コンセントに電源プラグを差し込むと、冷蔵ユニットの故障につながります。

⚠ 警告

- 1.15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。
- 2.安全のため漏電ブレーカ(定格電流15A/定格感度電流30mA)を取付けてください。
- 3.コードリールは使用しないでください。
- 4.たこ足配線は、絶対にしないでください。
- 5.電源コードは踏みつけないでください。
- 6.電源コードに足を引っかけて転倒するおそれがあります。設置場所や使用時には、コードが通行の妨げにならないようご注意ください。

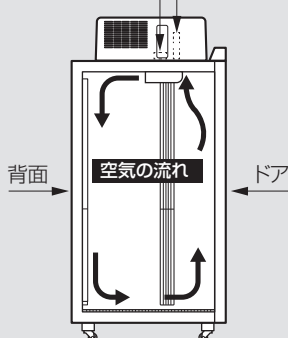
4.2.2.庫内冷却について

庫内には冷却空気を循環させるために蒸発器ファンが付いています。この蒸発器ファンは庫内の貯蔵物を均一に冷却させるためのもので、急冷用ではありません。庫内壁面には冷気が流れるためのすき間を開けてください。

GBR5/GBR7

図はGBR7

蒸発器ファン(内部) 蒸発器(内部)

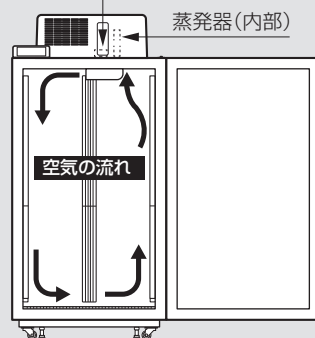


GBR10/GBR14

図はGBR14

蒸発器ファン(内部)

蒸発器(内部)

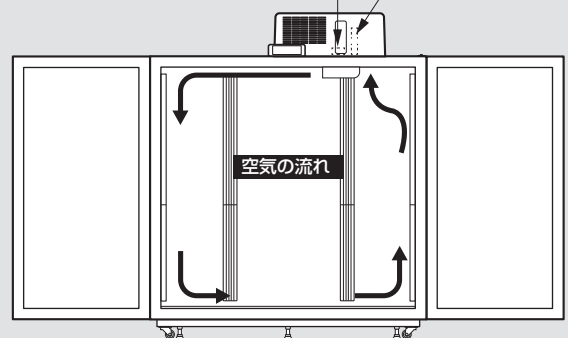


GBR20/GBR21/GBR28/GBR32

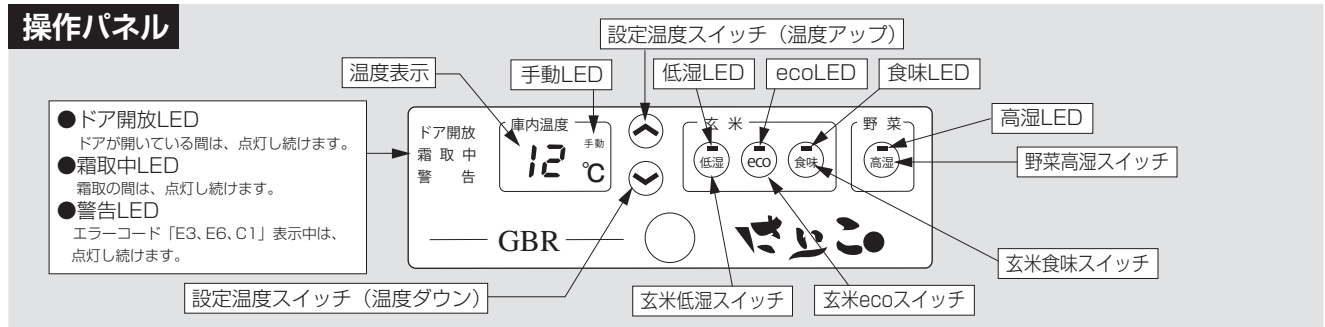
図はGBR28

蒸発器ファン(内部)

蒸発器(内部)



4.2.3.庫内温度・庫内湿度の設定と表示について



自動運転モード

玄米低湿モード

を押して、低湿LEDを点灯させる。……

玄米を保管する場合に使用してください。庫内温度は12°C、庫内湿度は低湿に設定されます。

玄米ecoモード

を押して、ecoLEDを点灯させる。……

電気代を抑えながら玄米を保管したい場合に使用してください。
庫内温度は14°C、庫内湿度は低湿に設定されます。

玄米食味モード

を押して、食味LEDを点灯させる。……

食味の低下をより抑えて玄米を保管する場合に使用してください。
庫内温度は3°C、庫内湿度は低湿に設定されます。

野菜高湿モード

を押して、高湿LEDを点灯させる。……

野菜を保管する場合に使用してください。庫内温度は5°C、庫内湿度は高湿に設定されます。

手動運転モード

低湿にて庫内温度を変更させる場合、「低湿」「eco」「食味」のいずれかを押す。

庫内設定温度を上げたいときは を押し、

庫内設定温度を下げたいときは を押しします。

または を押すと温度表示部の数字が点滅します。点滅している数字が設定温度です。

手動LED、低湿LEDが点灯し、低湿に設定されます。

高湿にて庫内温度を変更させる場合「高湿」を押して、「高湿」ランプを点灯させる。

庫内設定温度を上げたいときは を押し、

庫内設定温度を下げたいときは を押しします。

または を押すと温度表示部の数字が点滅します。点滅している数字が設定温度です。

手動LED、高湿LEDが点灯し、高湿に設定されます。

重要

- 玄米ecoモードの電気代は、玄米低湿モードの約1割減少します。
- 食味モードの電気代は、玄米低湿モードの約5割増加しますが、食味の劣化を玄米低湿モードより抑制することができます。
- 庫内温度は、設定温度に対し、上下2°Cの範囲で制御します。
(但し、玄米ecoモードの場合は、+2.5～-1°Cの範囲で制御します。)
- 玄米ecoモードは玄米専用のモードです。野菜では使用できません。
圧縮機、各種ファンの運転時間を減らして節電を行います。
- 設定温度は2°C～20°Cの範囲で設定できます。

4. 機械の使用

4.2.4. 庫内湿度と温度調節の範囲及び代表的な用途

操作パネルで、貯蔵する物によって庫内の湿度を切り換えて使用できるようになっています。
下表を参考にして切り換えてください。

湿度切換	庫内湿度(%)	温度調節	代表的な用途	蒸発器ファンの働き (庫内ファン)
低 湿	50~75	2~20℃	玄米、粉、小麦など	圧縮機が止まると蒸発器ファンが止まる(*) 圧縮機が動くと蒸発器ファンも動く 圧縮機が止まるが蒸発器ファンは動く(霜取り時)
高 湿	60以上	2~20℃	生鮮野菜など	連続して運転する

* 圧縮機停止1分後に10秒~8分間蒸発器ファンが動きます。

重要

玄米などの乾燥物と生鮮野菜などを一緒に貯蔵しないでください。
庫内湿度は参考値です。ドアの開閉頻度や、外気の温度、湿度により変化します。
野菜や果物はその貯蔵温度・貯蔵湿度・貯蔵期間をよく確認してから貯蔵してください。
野菜類で収穫から出荷までの一時貯蔵に使用する場合は3日間が限度です。
野菜類の予冷(急速に冷却する)には冷却能力が足りませんので使用しないでください。

4.2.5. 霜取りについて

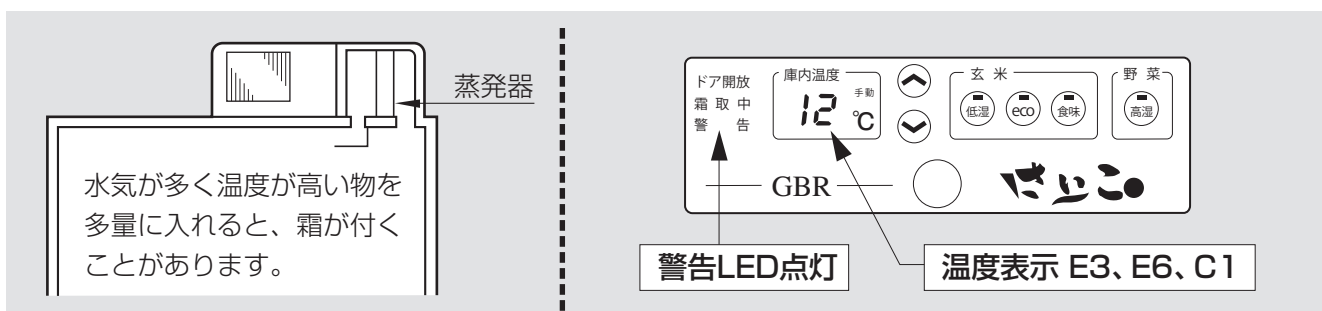
熱交換器(蒸発器)の霜取りは、圧縮機が停止したとき自動的に行われます。
また、2時間ごとに15分から20分程度圧縮機を停止して霜取りを行い、霜取中LEDが点灯します。(蒸発器ファンのみが回ります)通常の使い方では霜が付くことはありませんが、水気が多く、温度が高い物やアスパラなど水分を多く含むものを多量に入れたときなどに霜が付くことがあります。この場合は、一旦電源プラグを抜き、霜がとけてから電源プラグを入れ直してください。また密閉容器に入れる、保管物を減らす、設定温度を10℃以上にするなどの保管条件の見直しをお願いします。

4.2.6. エラーコード表示

運転中に異常があると温度表示部に、E3、E6、C1または温度を点滅表示し、ブザーが鳴り運転を停止する場合があります。
31ページの「困ったときには」を参考に点検をして、それでも直らない場合には購入先に修理を依頼してください。

●エラーコード一覧

温度表示	異常内容	対応	ブザー	警告LED	運転
E3	庫内温度サーミスタの故障	部品交換	鳴る	点滅	停止
E6	OHサーミスタの故障	部品交換	鳴る	点滅	停止
C1	オーバーヒート	P31参照	鳴る	点滅	停止
点滅表示	庫内温度高温異常	P31参照	鳴らない	消灯	継続



4.2.7.排水について

冷蔵ユニットの排水は、**ユニット内で蒸発**するようになっています。排水ホースは、多量の排水があった時、本体の天パネルに水が落ちないように取付けています。(ドアを閉め忘れた時や、ドアを何回も開閉した時には、排水ホースから水が出ることがあります。)

高湿設定時、水気の多い野菜や根菜の貯蔵をする時は多量の排水が考えられますので、短い排水ホースを外して、より長い排水ホースを取り付けてください。(長い排水ホースは別売品です。)

重要

排水が出ることがありますので次のことをお守りください。

- ドアは確実に閉めてください。
- ドアを頻繁に開閉しないでください。
- 長時間ドアを開ける時は電源プラグをコンセントから抜いてください。

4.2.8.貯蔵品の入れ方について

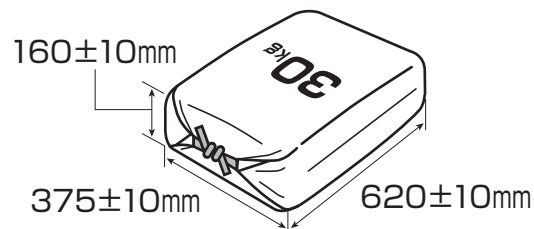
重要

- ① 貯蔵品を庫内に入れるとき、壁面から30mm以上開けて、冷気が庫内をまんべんなく循環するようにしてください。
- ② 庫内上部には冷気の吹出し口、戻り口があります。この部分がふさがれると冷却できませんので、50mm以上のすき間を取ってください。
- ③ 温度が高いものは、外気温度と同じになるまで待ってから入れてください。

● 玄米袋の基準寸法について

玄米30kg入紙袋の寸法は、右図の寸法を設定しています。

※玄米30kgを入れた時の寸法。



- 玄米袋は、平らになるように形を整えて、壁面から30mm以上空けて積み込んでください。
- 基準寸法を超えて、膨らんだ形で積み込んだ場合、不安定になり袋が崩れたり、製品設定の最大貯蔵袋数まで積み込めない場合があります。



4.機械の使用

4.2.9.玄米の貯蔵について

貯蔵袋数や、中心まで冷却にかかる日数は右表のようになっています。

- ①18ページのように庫内壁面(前後左右)に紙袋がふれないように30mm以上すき間をあけてください。
- ②設定温度は**15℃以下**にしてください。
- ③玄米を貯蔵するときは、水分の多い品物(野菜果物など)や香りを発生する品物との同時貯蔵はしないでください。**玄米だけで貯蔵**してください。

型 式	玄米袋 (30kg)	袋積み 列数	袋積み 段数	袋中心部が 12℃に冷える日数
GBR5	5袋	1列	5段	5日間
GBR7	7袋	1列	7段	5日間
GBR10	10袋	2列	5段	5日間
GBR14	14袋	2列	7段	5日間
GBR20	20袋	4列	5段	5日間
GBR21	21袋	3列	7段	5日間
GBR28	28袋	4列	7段	6日間
GBR32	32袋	4列	8段	7日間

- ④**精米を行う場合は庫外に出し、中の玄米が外気温度と同じになってから精米**してください。

夏場は温度差が大きいため12時間以上の時間が必要です。

玄米が冷えた状態で精米すると、うまく精米できないことがあります。

- ⑤初夏から夏(6月～9月)にかけて玄米を取り出す時は、早朝の温度が低いときに取り出すように心がけてください。

重要

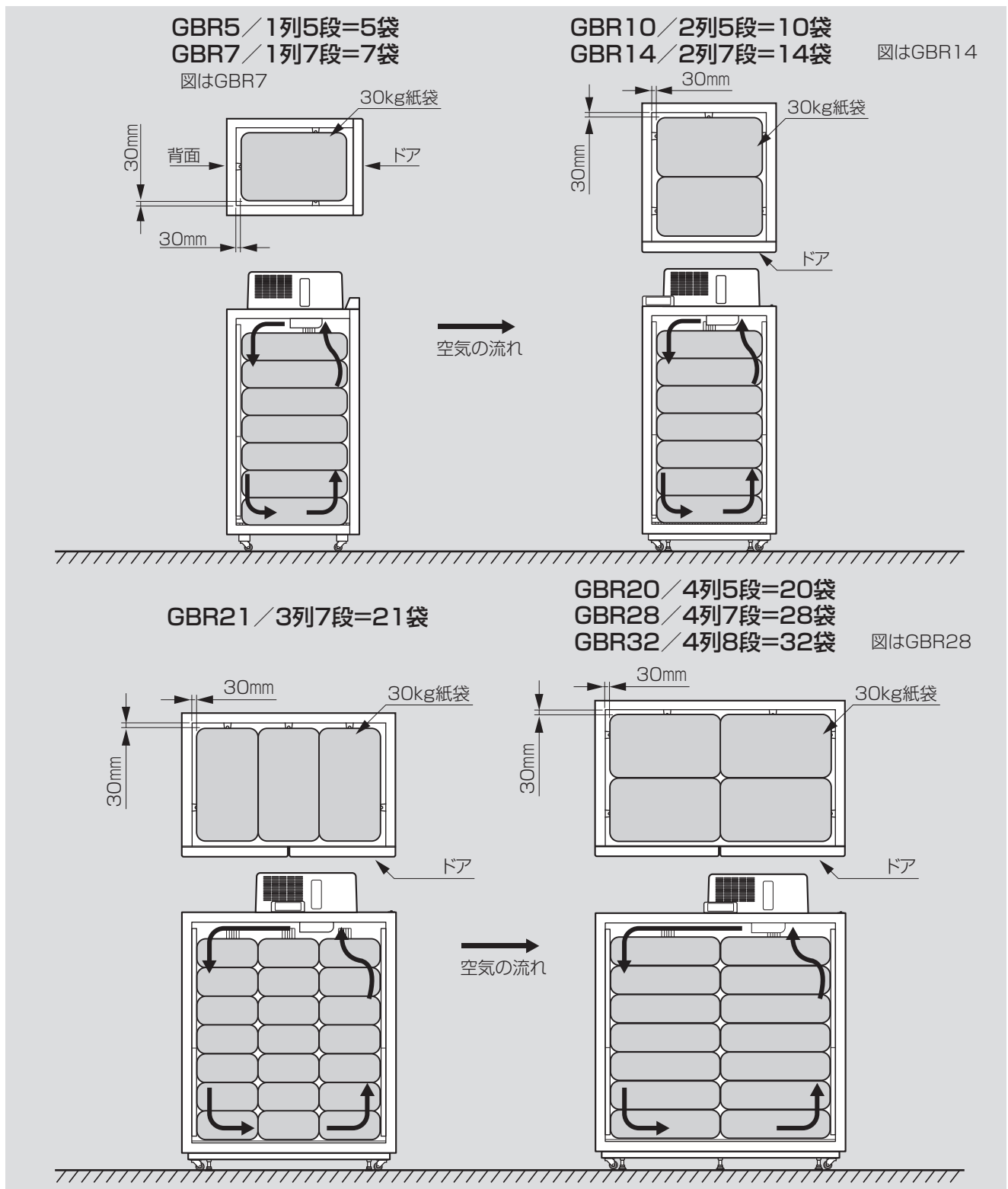
●必ず、冷気の循環路を確保してください。

重要

●冷えた玄米を外気にさらすと、表面に露が付き(結露)玄米の表面が白くひび割れを起すことがあります。紙袋の口は開けないでください。精米直前に開封してください。

注意

米袋はドアを開けた時、崩れないように後ろの荷摺り柱にもたれさせるように積んでください。崩れると、カギを掛けた状態でもドアが少し開き、庫内に水滴が落ちてきたり、天パネルに水滴がたまる場合があります。



●玄米30kg紙袋高さ160±10mm×幅375±10mm×奥行620±10mmで換算。●庫内の壁に袋がふれないように30mm以上のすき間を開ける。

4.2.10.結露について

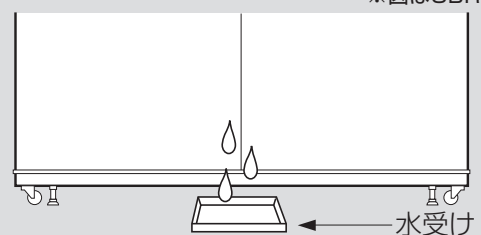
入梅から夏にかけてドアの合わせ部に露がつき、床に水が溜まる場合がありますが故障ではありません。水の量が多い場合は水受け（お客様でご用意願います。）で受けてください。

（2ドアの貯蔵庫の場合）

また、著しく高温・高湿の時には、本体全体に結露が生ずることがありますが故障ではありません。やわらかい布で拭き取り、本体周りの風通しをよくしてください。（場合によっては、本体を温度・湿度の低い場所に移動してください。）

GBR20/GBR21/GBR28/GBR32

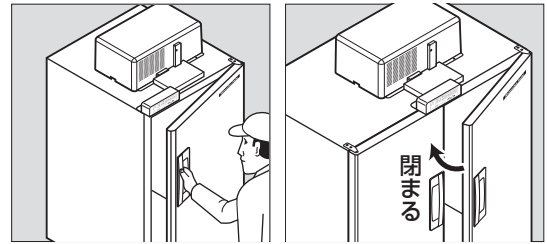
※図はGBR21



4.機械の使用

4.2.11.ドアの密閉について

ドアは確実に閉めてください。
マグネットパッキンが本体に密着しているか確認してください。
ドアを閉めた直後、すぐにドアを開けようとするとうドアが重くなります。これは、庫内に入った空気が急に冷やされて、庫内の圧力が一時的に庫外より低くなるためです。



重要

ドアがしっかり閉まっていないと庫内に露が付き、お米がカビることがあります。また、天パネルに水滴がたまることがあります。

注意

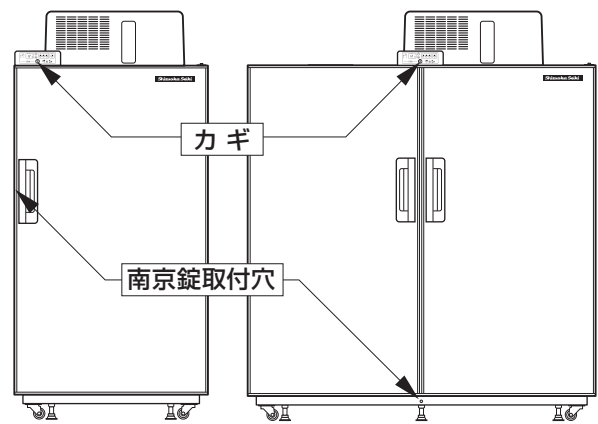
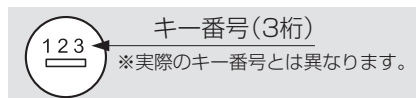
設置状況や、使用状況によりドアパッキンが硬化などして交換が必要になる場合があります。

⚠ 注意

1. ドアは取手を持って閉めてください。
ドアに指などをはさんでケガをすることがあります。
2. ドアの回転側に手や指などを入れていないことを確認してから、ドアを閉めてください。
3. ドアは勢いよく閉めないでください。
4. 2枚ドアの場合、ドアを閉じる時中仕切りが正しい位置にあることを確認してください。誤った位置で無理に閉めようすると、中仕切りが破損することがあります。
5. 短い時間(間隔)で開閉すると、機械が故障する可能性があります。

4.2.12.カギについて

貯蔵品の出し入れが終わったら必ずカギをかけてください。
カギをかける時は中に人がいないことを確認してください。
キーは2個ありますので、別々に保管すると紛失したときに安心です。2個とも紛失して注文するときは、本体のキーの番号を連絡してください。
1ドアタイプはパチン錠のところ、2ドアタイプはドアの下に南京錠取付穴があります。必要に応じて別途購入してください。



南京錠推奨サイズ: 40番(幅 39mm)

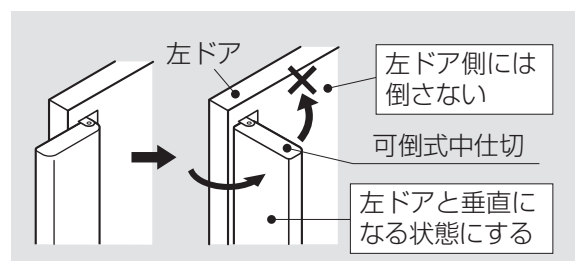
⚠ 注意

カギは本体上部にあります。付けたままにしないでください。ぶつかってけがをしたり、キーが折れることがあります。

4.2.13.可倒式中仕切について

●2ドア冷蔵庫の場合

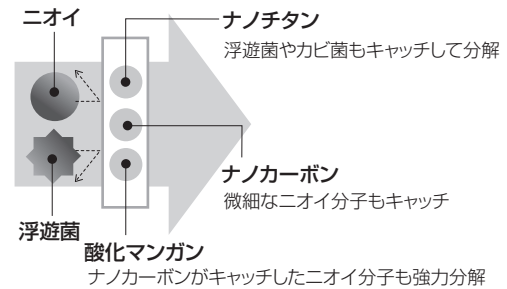
左ドアに可倒式中仕切がついていますが、左ドアと平行になる状態で左ドアを閉めると右ドアに当たります。垂直になる状態にしてから閉めてください。
可倒式中仕切を垂直な状態から左ドア側には倒さないでください。また、無理な力を掛けないようにしてください。



4.2.14.ナノチタン/カーボンについて

抗菌、脱臭効果のあるフィルターが冷蔵ユニットに付属しています。交換は不要です。

(試験依頼先) ※抗菌:日本紡績検査協会 ※脱臭:サンコー分析センター



4.2.15.足元灯／閉め忘れ防止ブザーについて

●ドアを開けると、足元灯が点灯します。ドアを閉めると消灯します。

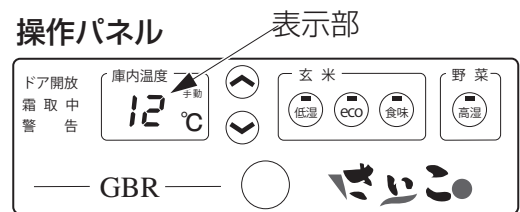
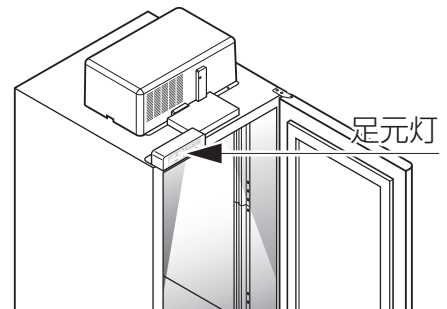
※ユーザーパラメーターP1をoFにした場合は、ドアを開けても点灯しません。

●ドアを開けたままにすると、4分、15分でブザーが鳴ります。

15分後のブザーは鳴り続け、ドアを閉めるか、操作パネルのいずれかのスイッチを押すと鳴りやみます。

操作パネルのスイッチで止めた場合は、一時的に鳴りやみますが、ドアを開け続けたままでは1分後に再び鳴ります。(スヌーズ機能)

ドアが開いている間は、ドア開放LEDは点灯し続けます。



●ユーザーパラメーターの変更

ドアセンサーの検知を変更し、足元灯・ブザーの作動を変更することができます。

- ① 操作パネルの (↑) スイッチと (↓) スイッチを同時に**5秒間**押します。
- ② (↑) または (↓) スイッチを押して表示部にP1、P2、P3を表示させます。
- ③ 変更したい項目が表示された状態で (食味) スイッチを押します。
- ④ (↑) または (↓) スイッチを押してパラメーターを変更します。
- ⑤ (食味) スイッチを押して、パラメーターが確定し、②の状態に戻ります。
- ⑥ ①の操作を行うと通常のコントロールモードに戻ります。

また②の状態でも1分間経過した場合も通常のコントロールモードに戻ります。

NO	項目	パラメーター	状態
P1	ドアセンサー検知許可	oF	検知禁止 (足元灯点灯しません。)(ブザー作動しません)
		on	検知許可 ドア開検知4分後、15分後にブザーが鳴ります。(初期値)
		bo	ドア開を検知するとブザーが鳴ります。(防犯用)
P2	圧縮機停止選択	oF	ドア開を検知しても冷却運転を止めません。
		on	ドア開を検知した場合、冷却運転を停止します。(※1)
		4	ドア開を検知した後、4分後に冷却運転を停止します。(初期値)
P3	蒸発器ファン 常時ON	oF	蒸発器ファンは制御に基づいて運転します。(初期値)
		on	運転に関係なく、常時蒸発器ファンが作動します。

※1 ドア開のタイミングによっては、圧縮機保護の為、最大3分間は冷却運転する場合があります。

5 点検と掃除と廃棄

この章では、機械の点検箇所と方法、掃除箇所と方法および廃棄について説明しています。

5.1.点検箇所と方法

5.1.1.庫内温度の点検

- 温度表示部で庫内温度の確認をしてください。

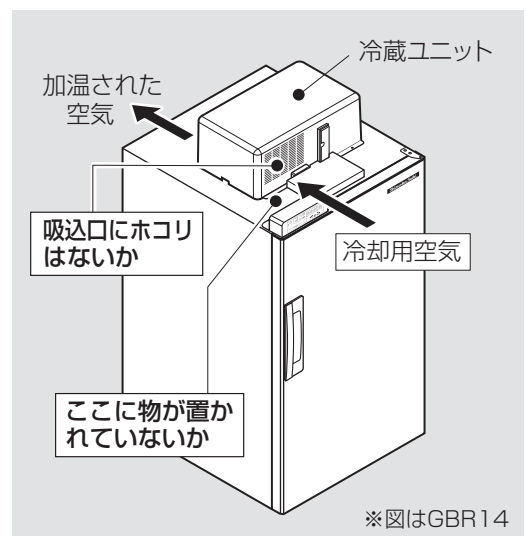


警告

本体や冷蔵ユニットの上に乗ったり物を置かないでください。ドアを開けた時に物が落下してケガをしたり、機械が変形します。

5.1.2.吸込口の点検と掃除

- 冷蔵ユニットの前面、後面には物を置かないでください。
- 吸込口にホコリがついていないか確認してください。
冷却用空気が吸込口を通過しています。ここがふさがれますと、冷却能力が下がり、庫内が冷えなくなります。また冷蔵ユニットの寿命を短くしますので注意してください。
- ホコリがついている場合、吸込口部分を掃除機やブラシなどで取り除きます。



警告

1. 内部のフィンに素手でさわらないでください。
2. 水はかけないでください。

5.1.3.設置場所室温の点検

- 室内の温度が40℃以下であることを確認してください。

注意

- 室内の温度が40℃以上になると冷却能力がいちじるしく低下します。電気代のムダや、冷蔵ユニットの故障の原因となりますので風通しをよくする工夫をしてください。

部屋の温度は
40℃以下



5.1.4.長期間使用しないとき

- 電源プラグを抜き、ドアを開いて、庫内を乾燥させてください。

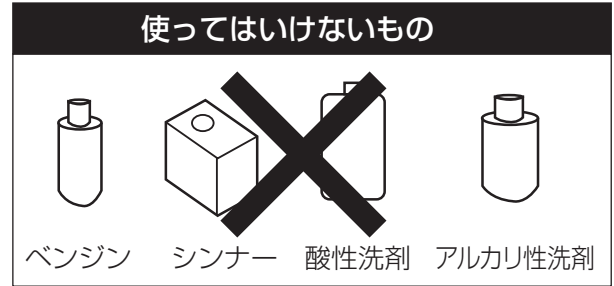
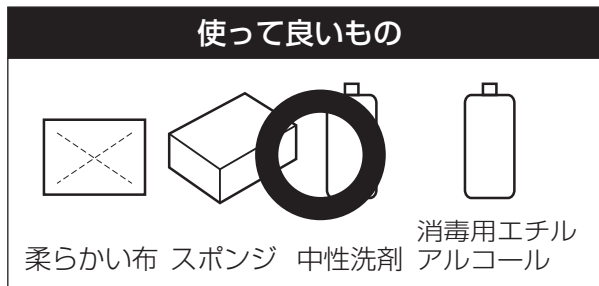


警告

冷蔵ユニットの内部に指や棒、針金等を入れないでください。冷気の吹出し口、戻り口に手を入れないでください。感電やケガをすることがあります。

5.2.掃除箇所と方法

- ①電源プラグを抜いて、運転を停止します。
- ②洗剤を使う場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布かスポンジに含ませて拭いてください。
次に、洗剤が残らないよう、水拭きしてください。**水をかけて洗わないでください。**
- ③カビが見られるときは、消毒用エチルアルコールをスプレーすると効果があります。
アルコールの臭いがなくなるまでドアを開けておいてください。



警告

- 1.消毒用エチルアルコール以外の溶剤（例えばベンジンやシンナーなど）や酸性やアルカリ性の洗剤（風呂用洗剤など）は絶対に使わないでください。
- 2.冷蔵ユニットには直接水をかけないでください。漏電や故障の原因になります。

5.3.貯蔵庫の廃棄について

- 長年お使いいただいた後、廃棄される場合は、必ずドアと冷蔵ユニットをはずし、本体と別にしてください。
- 廃棄は廃棄物処理法に基づいた適正な処理をしてください。
(不法投棄は絶対にしないでください。廃棄物処理法により罰せられます。)
- 地域により廃棄方法や区分が異なることがあります。
詳しくは、各市町村の廃棄担当部署にご確認の上、処理をしてください。
- 廃棄には費用が掛かりますので、お客様にてご負担をお願い致します。

警告

- 1.ドアをはずしていないと、子供が閉じ込められて事故の原因になります。
- 2.子供が遊ぶ場所に放置しないでください。

- この製品に使用している冷媒は次の通りです。

機 種	GBR5/GBR7/GBR10/GBR14	GBR20/GBR21/GBR28/GBR32
冷媒の種類	R1234yf (ノンフロン)	
冷媒の量	96g	132g

6 組立要領

この章では、機械の組立について説明しています。

6.1.組立の前に

重要

- 組立作業は専門の作業者が行ってください。誤った作業をすると感電・火災・ケガ・故障の原因になります。
- 作業に適した服装と靴で作業してください。
- 体調が良くない、フラフラするなど健康に異常がある時は作業しないでください。思わぬ作業ミスやケガのおそれがあります。
- 連携作業は、足元を確認した上で声を掛け合って行ってください。
- 本体上部での作業(冷蔵ユニットの取付等)はしっかりした足場を用意し、足元を十分に確認してから行ってください。
- 必要な工具を準備してください。●必要な部品が揃っていることを確認してください。

6.2.組立の手順

6.2.1.設置スペース

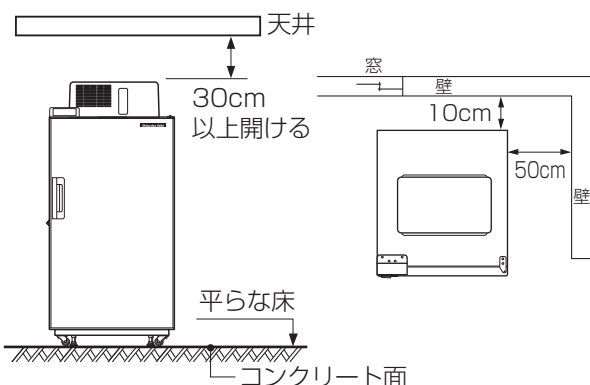
設置スペースを確保してください。

重要

- 1.本体の周囲には、左右50cm、後面10cm、上面30cm以上のスペースを取ってください。
- 2.設置場所は平らな所で、しっかりしている床面（コンクリート床）に設置してください。
床面がしっかりしていないと、貯蔵物の重量により本体の水平がくずれます。本体の水平がくずれると、庫内に水滴が落ちてくる可能性があります。
- 3.直射日光が本体に当たらないようにしてください。
(電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットの圧縮機に無理がかかります。)
- 4.換気ができる所に設置してください。
(電気の消費が増すと同時に冷蔵ユニットの圧縮機に無理がかかります。)

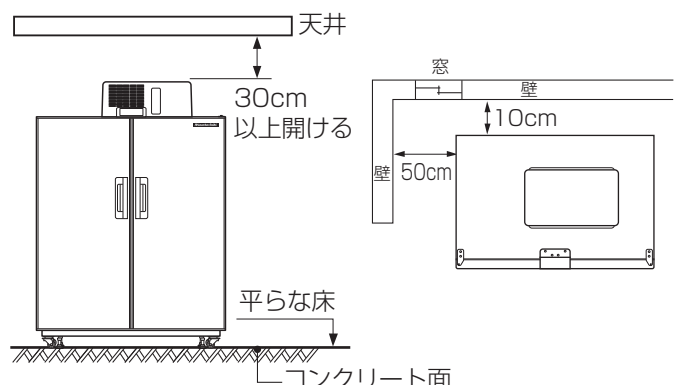
GBR5/GBR7/GBR10/GBR14

※図はGBR14



GBR20/GBR21/GBR28/GBR32

※図はGBR21



6.2.2.組立・設置に必要な工具類

必要な工具類を準備してください。

工具名		型式	GBR5	GBR7	GBR10	GBR14	GBR20	GBR21	GBR28	GBR32
ボックスレンチ	10mm					○				
スパナ	10mm					○				
	24mm					○				
⊕ドライバー	大					○				
	中					○				
脚立						○				
ヘルメット・安全靴・手袋						○				

6.2.3.梱包部品の確認

部品が揃っていることを確認してください。

- ① 梱包を解きます。② 本体の中に、冷蔵ユニットと部品が入っています。確認をしてください。

部品名		型式	GBR5	GBR7	GBR10	GBR14	GBR20	GBR21	GBR28	GBR32
冷蔵ユニット (アース線)						1式				
すのこ						1				
部 品	操作ボックス					1				
	排水ホース					1				
	コネクターカバー					1				
	ケーブルカバー					1				
	後付けアジャストボルト			—			1	—	1	
	ホースサドル		—				2			
	A D J プ ラ グ					4				
	ADJ プラグ断熱シート					4				
	キ ー					2				
	M4×12 バインド小ネジ (ケーブルカバー用ネジ4本)		4				8			
	M6×20 平座金付六角ボルト			8			9	8	9	
	M4×8 トラス小ネジ					1				
取扱説明書						1				
お客様用説明書						1				

6.組立要領

6.2.4.貯蔵庫の設置

GBR5/GBR7/GBR10/GBR14の場合

①本体下の車輪固定板をはずします。

- 1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで左右の固定ボルト4カ所をはずします。
- 2.本体を手で、右方向に押します。
- 3.車輪固定板がはずれます。
- 4.ダンボールと保護シートをはずします。

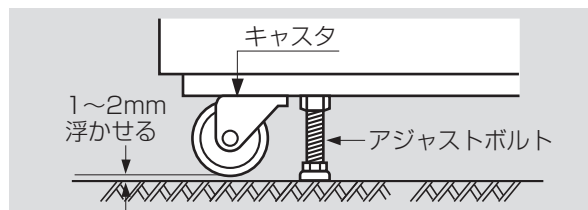
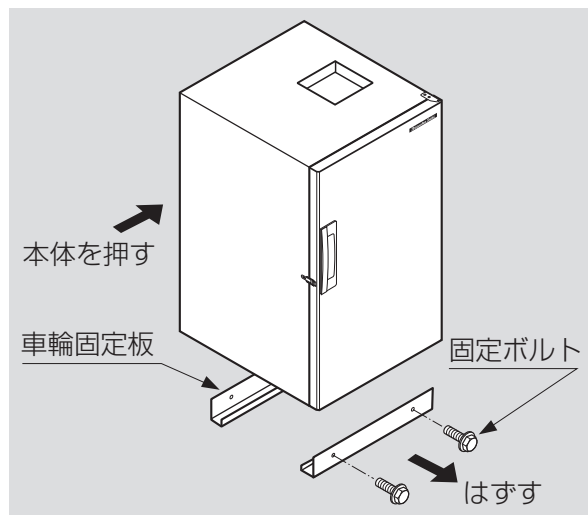
②設置場所に固定します。 **前方調整**

土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。

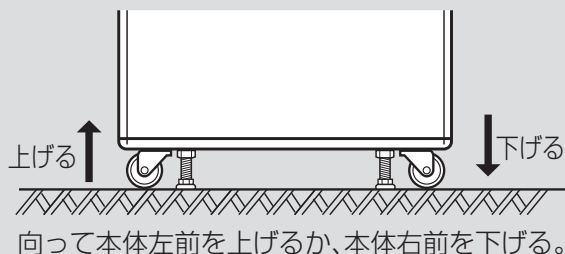
- 前側のアジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。

重要

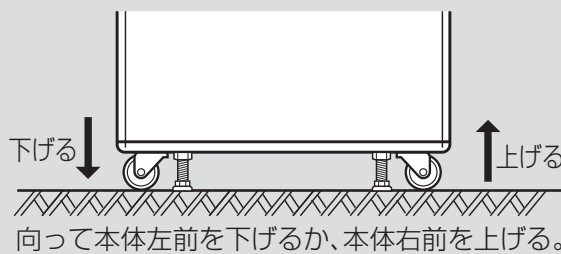
- 1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。
- 2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。



●ドア左側が本体より高いとき



●ドア左側が本体より低いとき



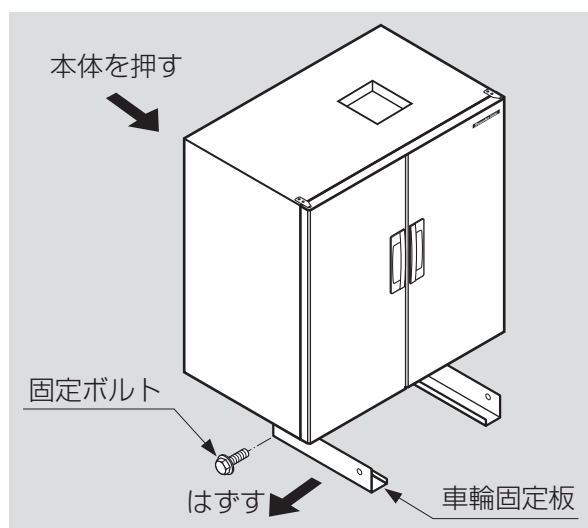
GBR20/GBR21/GBR28/GBR32の場合

①本体下の車輪固定板をはずします。

- 1.スパナ10mm又はボックスレンチ10mmで左右の固定ボルト4カ所をはずします。
- 2.本体を手で、前方向に押します。
- 3.車輪固定板がはずれます。
- 4.ダンボールと保護シートをはずします。

②設置場所に固定します。

土間や板の間などの床面が柔らかい場所には設置しないでください。



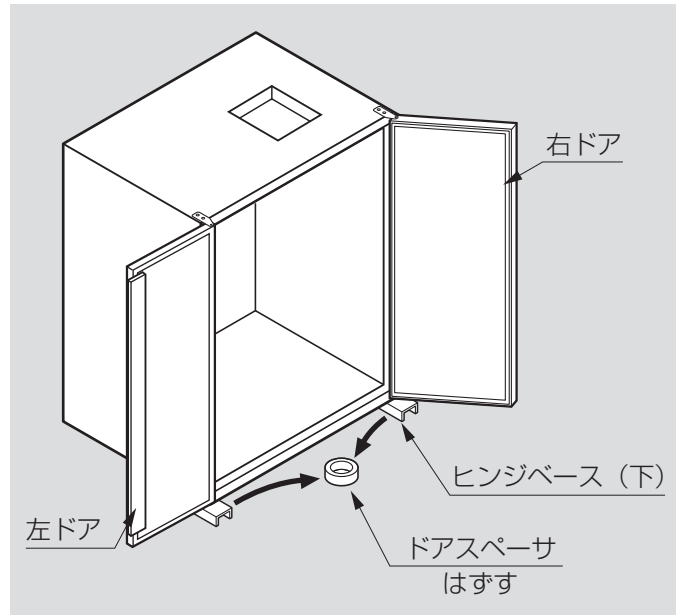
全型式

③ ドアスペーサをはずします。

1. ドアを開けます。
2. ヒンジベース（下）に乗っているドアスペーサをはずします。
（1ドアは1個、2ドアは2個あります。）

注意

- ドアスペーサは、輸送時にヒンジ軸（下）ブッシュを保護するためのもので、設置後には不要となります。
【材質：POM（ポリアセタール）】
- ドアスペーサを付けたままにしておきますと、ドアが自動的に閉まらない場合があります。



6.2.5.冷蔵ユニット・排水ホースの組付け

① 本体上部に冷蔵ユニットを乗せ、ボルトで固定します。(平座金付六角ボルトM6×20)

警告

冷蔵ユニットを取り付ける前に、必ず本体をアジャストボルトで固定してあることを確認してください。
作業中、本体上部から冷蔵ユニットが落下したりケガをするおそれがあります。

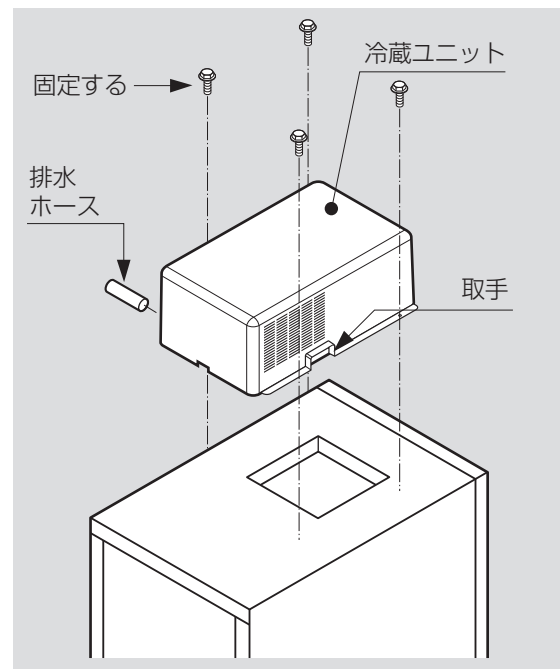
重要

- 冷蔵ユニットを運ぶ時は、必ず取手を持って運んでください。取手以外の所を持つと手を滑らせ冷蔵ユニットが落下し破損・変形します。
- 冷蔵ユニット底面の発泡スチロール、パッキンは取外さないでください。
- 冷蔵ユニットを乗せる連携作業は、足元を確認した上で、声を掛合ってください。

GBR5/GBR7の場合

② 排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差し込みます。排水ホースの先が下向きになるように差し込んでください。

GBR5/GBR7の場合



注意

- 根元までしっかり差込んでください。
- 排水ホースを差し込むとき、排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。

6.組立要領

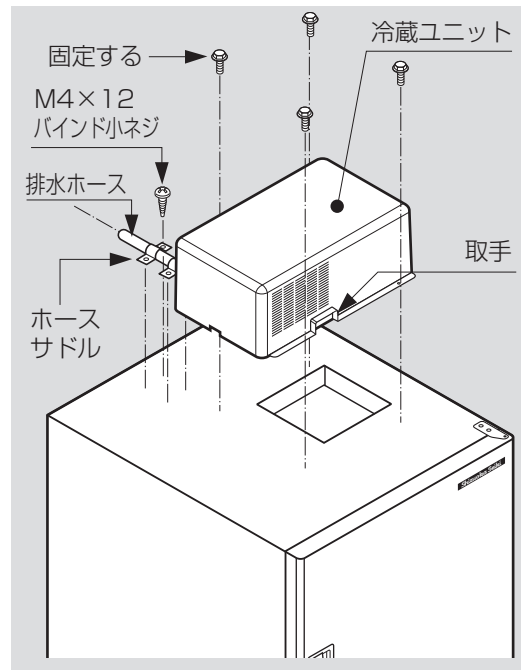
GBR10~GBR32の場合

- ③排水ホースを冷蔵ユニットの排水ドレンパイプに差込みます。
排水ホースをホースサドルで本体に固定します。
(M4×12バインド小ネジ)

注意

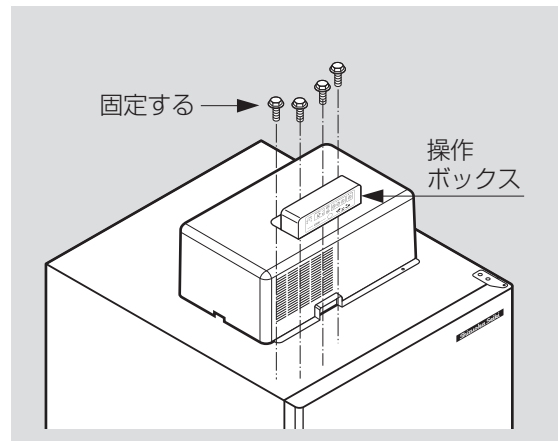
- 根元までしっかり差込んでください。
- 排水ホースを差し込むとき、冷蔵ユニット側の排水ドレンパイプに無理な力がかからないようにしてください。
- 排水ホースが浮き上がらないように、ホースサドルで固定してください。
- 排水ホースが長い場合はケガに注意してカッターなどで切断してください。

GBR10~GBR32の場合



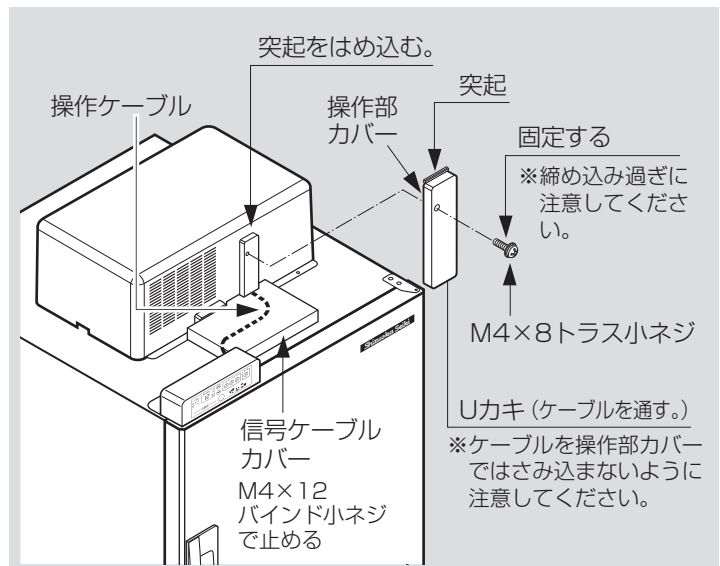
6.2.6.操作ボックスの組付

- ①天パネルに、操作ボックスを仮置きし、M6×20平座金付六角ボルト(4本)で固定します。
- ②冷蔵ユニットのコネクターに操作ケーブルを接続します。操作ケーブルは確実に差し込んでください。
- ③操作部カバーの上側突起部分を冷蔵ユニットにはめ込みます。操作ケーブルを操作部カバーのUカキ部に挟み込みます。操作部カバーをM4×8トラス小ネジで固定します。



注意

- 操作部カバーは必ず取り付けてください。感電のおそれがあります。
- 操作ケーブルを操作部カバーで挟み込まないように注意してください。
- M4×8トラス小ネジを締め込みすぎると、ネジが空回りします。



6.2.7.アジャストボルトの調整

GBR5~GBR32

前方調整

- ①設置場所に固定します。
土間や板の間などの床面が柔らかい場所
には設置しないでください。

- 前側のアジャストボルトを下げて、本体が動かないようにします。

重要

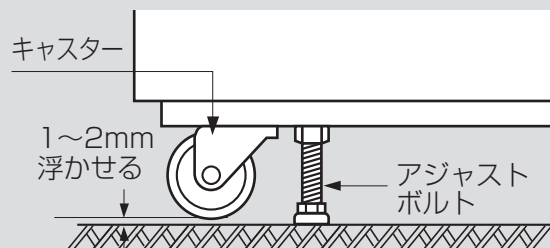
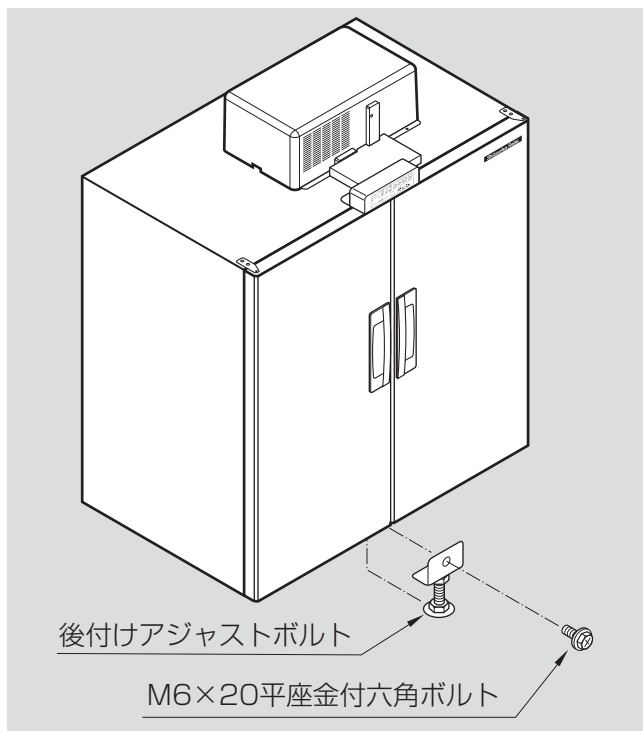
- 1.スパナ24mmでアジャストボルトを調整します。
- 2.水平はドアに歪みがないようにドアを開閉しながら調整してください。

GBR20/GBR28/GBR32の場合

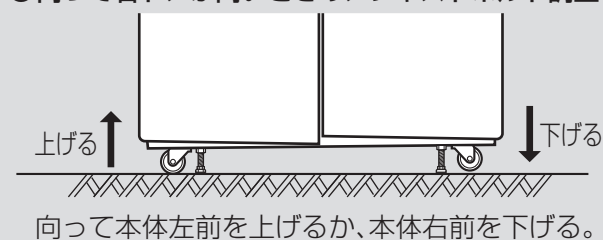
- ②後付けアジャストボルトを取付けます。

(M6×20平座金付六角ボルト)

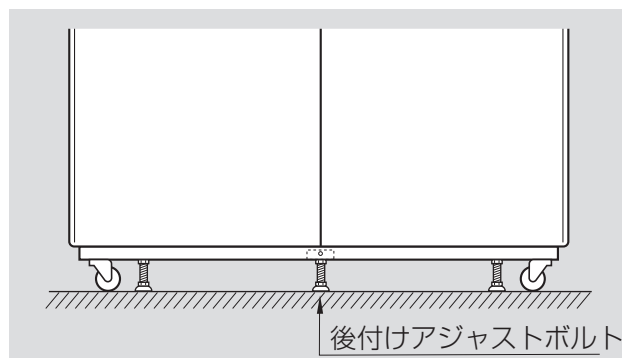
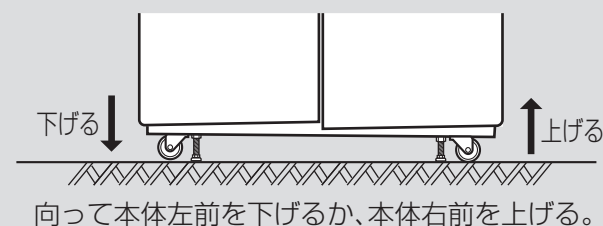
- 後付けアジャストボルトを前側補強にある穴(楕円)に差し込みます。
- 平座金付六角ボルトで固定します。
- アジャストボルトを地面に付くまで下げます。



- 向って右ドアが高いときのアジャストボルト調整



- 向って左ドアが高いときのアジャストボルト調整



警告

後付けアジャストボルトを組み付けずに米袋を入れると本体床パネルが変形(たわむ)します。必ず組み付けてください。

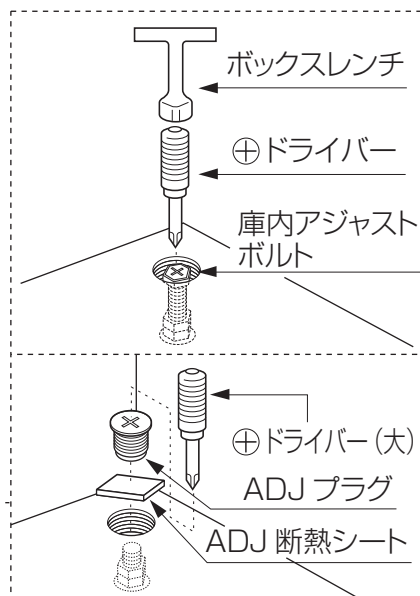
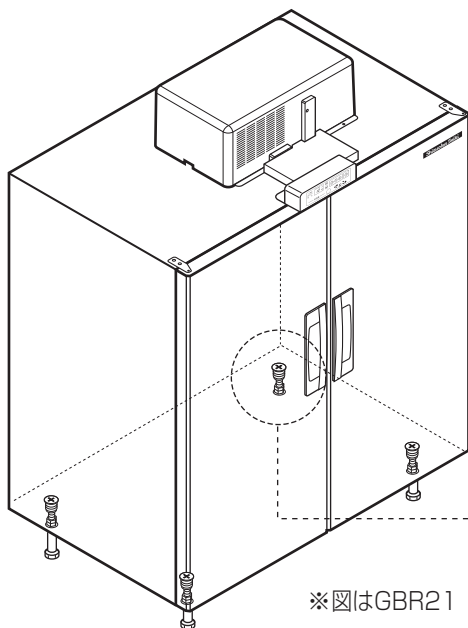
※GBR21には、後付けアジャストボルトがありません。

6.組立要領

GBR5~GBR32

後方調整 (庫内)

- 庫内アジャストボルトを下げ、本体が動かないようにします。
- 庫内アジャストボルトを⊕ドライバー(大)で下げます。
- 接地面に庫内アジャストボルトが付いたらボックスレンチ 10mm で水平調整します。
- ADJ 断熱シートを庫内アジャストボルトに当たるまで詰め込みます。
- ADJ プラグを⊕ドライバー(大)でネジ込みます。(庫内床面と同一面になるまでネジ込む。)



重要

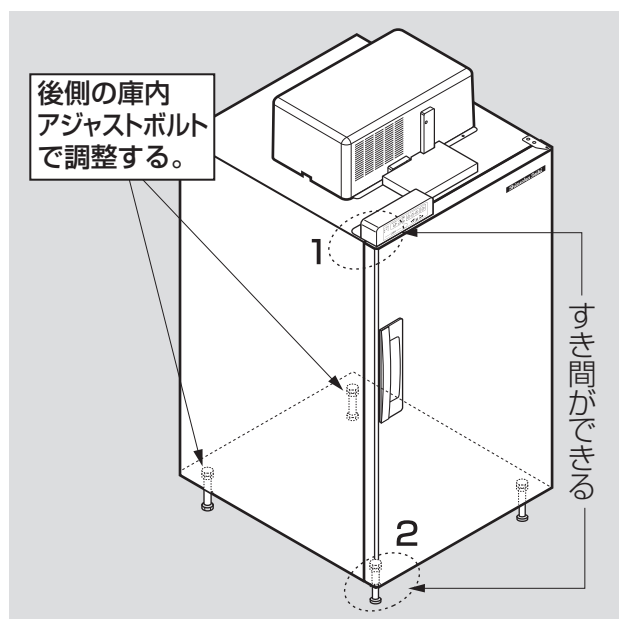
- ADJ プラグを入れ忘れると庫内が結露します。
- ADJ プラグ、ADJ 断熱シートは、庫内アジャストボルトを地面まで下げてから、ネジ込んでください。
- ADJ 断熱シートの真ん中を押しながら、ゆっくり詰め込んでください。
- ADJ 断熱シートを入れないと、ADJ プラグが結露することがあります。

GBR5~GBR14の場合

ドアゴム (マグネットパッキン) と本体の間ですき間が出るときは、本体に歪みがあります。後側のアジャストボルトを調整して本体の歪みを取ってください。

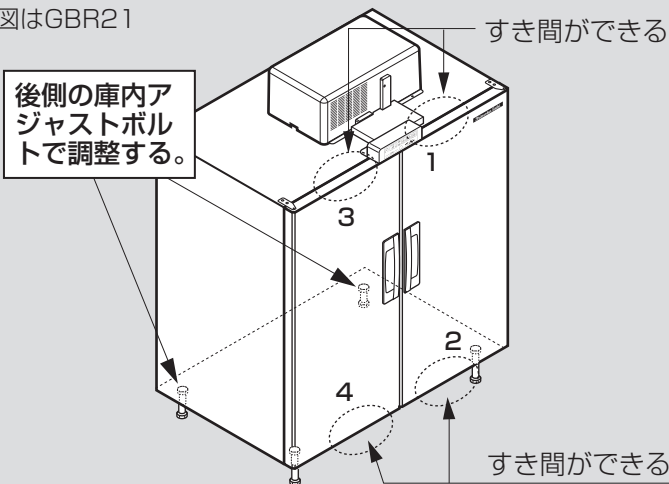
すき間の位置と調整

	すき間の位置	本体の調整方法
1	左側上部が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	左側下部が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる



GBR20/GBR21/GBR28/GBR32の場合

※図はGBR21



すき間の位置と調整

	すき間の位置	本体の調整方法
1	右ドア中央部の上側が空くとき	右後側を下げる 左後側を上げる
2	右ドア中央部の下側が空くとき	右後側を上げる 左後側を下げる
3	左ドア中央部の上側が空くとき	左後側を下げる 右後側を上げる
4	左ドア中央部の下側が空くとき	左後側を上げる 右後側を下げる

6.2.8.電源の確認

電源の確認をしてください。

警告

- 15A以上のアース端子付専用コンセントを設けて単独で使用してください。
- 他の機械の電源とのたこ足配線は絶対しないでください。
- 安全のため漏電ブレーカ(定格電流15A/定格感度電流30mA)を取付けてください。
- コードリールは使用しないでください。
- 延長コードを使用するときは、2mm²以上のキャプタイヤコードを使用してください。長さは、10m未満にしてください。
- 電源コードは踏みつけないでください。

6.3.組立後の確認

組立後の確認を行ってください。チェックリスト内容が全てOKとなるようにしてください。

項目	確認チェック事項	チェック	対応
1.据付	●本体は傾いていないか ●ドアにスキ間がないか		●25・28・29ページを参照 ●29・30ページを参照
2.組立	●本体の回りにスペースはあるか ●直射日光はあたらないか ●換気はよいか(40℃以下) ●排水ホースはしっかり接続されているか ●排水ホースの浮き上がりはないか		●23ページを参照 ●日除けをしてください ●窓を開けてください ●26、27ページを参照 ●26、27ページを参照
3.ネジ部分の締付け	●ボルトは締付けたか ●仮止め箇所はないか		●締付ける ●締付ける
4.ラベル	●警告・注意などの警告表示ラベルの汚損はないか		●取替えてください
5.漏電ブレーカ	●付いているか		●付いていない場合は顧客先 依頼事項とする
6.電源コード	●延長コードを使う場合は太さ2mm ² 以上あるか、長さ10m未満か		●太さ2mm ² 未満は取替えをし 10m以上は電気工事店へ依頼する
7.アース線	●アース線は接続しているか		●アース線を接続してください。
8.電源を入れる	●冷蔵運転開始・庫内の温度が低下していることを確認する (設定温度は外気温度以下)		●運転操作は11~15ページを参照する

7 困ったときには

この章では、機械の様子を調べていただくこと、処置していただくこと、および参照していただくページについて説明しています。

機械の様子がおかしいと思ったときには、まず次のことをお調べください。容易に処置できることがあります。それでもなお調子が悪いときは、購入先、又は、弊社にご連絡ください。

機械の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参 照
<ul style="list-style-type: none"> ●設定温度まで冷えない ●庫内温度が点滅する ●C1が表示されている 	<ol style="list-style-type: none"> 1.直射日光が当たっていませんか。 2.周囲の温度が高くなっていませんか。(40℃以下で使用) 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 4.吸込口にホコリがついていませんか。 5.冷蔵ユニットの前後に物が置かれていませんか 6.庫内に物を詰めすぎていませんか。 7.設定温度は希望の温度に設定してありますか。 8.ドアにすき間がありませんか。 9.ドアが少し開いていませんか。 10.凝縮器のファンは動いていますか。(圧縮機と同時運転) 11.熱いものを入れていませんか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.直射日光を防ぐ。 2.風通しを良くするように工夫する。 3.ドアの開閉回数を減らす。 4.ホコリの確認をし、ホコリがあれば掃除をする。 5.物を取り除く。 6.庫内の物を少なくする。 7.設定温度が違っていれば再設定する。 8.ドアのすき間をなくす。 9.ドアを確実に閉める。 10.購入先にご連絡ください。 11.熱いものは、冷めてから入れる。 	<p>P.12</p> <p>P.12 P.21</p> <p>P.12</p> <p>P.21</p> <p>P.21</p> <p>P.16 P.17</p> <p>P.14</p> <p>P.29 P.30</p> <p>P.19</p> <p>P.12</p>
エラーコード E3、E6が表示される (点滅)	<ol style="list-style-type: none"> 1.部品の故障です。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.購入先にご連絡ください。 	P.15
庫内がまったく冷えない	<ol style="list-style-type: none"> 1.電源が入っていますか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.電源プラグを確認する。 	P.13

機械の様子	調べていただくこと	処置していただくこと	参 照
設定温度以下を表示する	<ol style="list-style-type: none"> 1.外気温度が設定温度以下になっていませんか。 2.庫内に物を詰めすぎていませんか。 3.庫内の冷氣循環路は確保されていますか。 4.運転開始直後ですか。 5.設定温度は希望の温度に設定してありますか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.加温機能はありませんのでそのままご使用ください。 2.庫内の物を少なくする。 3.冷氣循環路を確保する。 4.運転開始直後は、庫内温度が不安定のため設定温度以下を表示することがあります。庫内温度が安定するまでに数日間かかります。 5.設定温度が違っていれば再設定する。 	<p>P.11</p> <p>P.16 P.17</p> <p>P.13</p> <p>P.11 P.17</p> <p>P.14</p>
庫内に水滴が落ちてくる	<ol style="list-style-type: none"> 1.排水ホースは浮き上がっていませんか。 2.排水ホースはしっかり差し込まれていますか。 3.本体が前後左右に傾いていませんか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.ホースサドルでしっかりと固定し、浮き上がりをなくす。 2.排水ホースを接続口にしっかり差し込む。 3.本体を水平にする。 	<p>P.27</p> <p>P.26 P.27 P.28 P.29 P.30</p>
庫内に露がつく	<ol style="list-style-type: none"> 1.ADJプラグはしっかり入っていますか。 2.ドアにすき間がありませんか。 3.ADJプラグはしっかり入っていますか。 4.ADJ断熱シートは入れてありますか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.ADJプラグをしっかりと入れる。 2.ドアをしっかりと閉める。 3.ADJプラグをしっかりと入れる。 4.ADJ断熱シートを入れる。 	<p>P.29</p> <p>P.19 P.29</p> <p>P.29</p>
本体の外に露がつく	<ol style="list-style-type: none"> 1.周囲の温度や湿度が高くありませんか。 2.ドアの合わせ部に露がついていませんか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.菜庫の設置してある室内の温度が40℃以上の場合や湿度の高い時は換気をよくするよう工夫する。 2.ドアの合わせ部には露がつくことがあります。水の量が多い場合は水受け（お客様でご用意願います）で受けてください。 	<p>P.21</p> <p>P.18</p>
ドアが傾いている	<ol style="list-style-type: none"> 1.床面が柔らかくありませんか。 2.床面が凸凹で本体がひずんでいませんか。 3.ドアスペーサを取り外されましたか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.床の固い設置場所に変更してください。 2.アジャストボルトで調整してください。 3.ドアスペーサを取りはずしてください。 	<p>P.5</p> <p>P.25 P.29 P.26</p>
排水パイプから水が出る	<ol style="list-style-type: none"> 1.高湿の設定になっていませんか。 2.ドアにすき間がありませんか。 3.ドアを頻繁に開けていませんか。 	<ol style="list-style-type: none"> 1.玄米貯蔵であれば、低湿設定にしてください。高湿設定でご使用になる時は、別売りの排水ホースをご利用ください。 2.ドアをしっかりと閉める。 3.ドアの開閉回数を減らす。 	<p>P.14 P.16</p> <p>P.19 P.12</p>

8

連絡先

機械に異常が発生し、原因が不明で適切な処置ができない場合は、購入先へご連絡ください。

購入先へ連絡が見つからない場合は、最寄りの弊社営業所もしくは農機営業部へご連絡ください。

購 入 先	
住 所	
T E L	

◎販売店に連絡が見つからない場合は、最寄りの弊社営業所もしくは営業本部へご連絡ください。

静岡製機株式会社

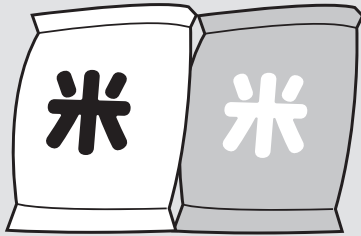
北海道営業所	〒007-0804 札幌市東区東苗穂4条3丁目4番12号	TEL.(011) 781-2234	FAX.(011) 780-2273
東北営業所	〒989-6136 宮城県大崎市古川穂波3丁目1番14号	TEL.(0229) 23-7210	FAX.(0229) 21-1330
新潟営業所	〒950-0923 新潟県新潟市中央区姥ヶ山1丁目5番30号	TEL.(025) 287-1110	FAX.(025) 257-1197
関東営業所	〒302-0017 茨城県取手市桑原1424-1	TEL.(0297) 73-3530	FAX.(0297) 70-1137
中部営業所	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	TEL.(0538) 23-1725	FAX.(0538) 23-1726
北陸営業所	〒920-0365 石川県金沢市神野町東52	TEL.(076) 249-6177	FAX.(076) 240-9333
関西営業所	〒661-0032 兵庫県尼崎市武庫之荘東2丁目10-8	TEL.(06) 6432-7890	FAX.(06) 6434-2184
中四国営業所	〒700-0975 岡山県岡山市北区今2丁目8-12	TEL.(086) 244-4123	FAX.(086) 244-9300
九州営業所	〒835-0004 福岡県みやま市瀬高町山門1841-1	TEL.(0944) 88-9793	FAX.(0944) 88-9794
農機営業部	〒437-1121 静岡県袋井市諸井1300	TEL.(0538) 23-2822	FAX.(0538) 23-2890

ホームページアドレス <https://www.shizuoka-seiki.co.jp/>

MEMO

保冷できるものについて

●玄米

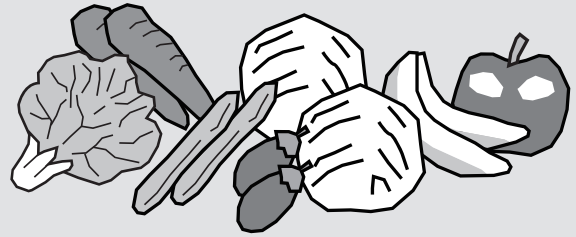


●密封された状態の飲み物



●野菜・果物類 ※1

(収穫から出荷までの一時貯蔵に)
使用する場合は3日間が限度



※1:種類によって貯蔵温度、貯蔵期間が大きく変わりますので注意が必要です。水切りした直後の野菜、表面に水分が付着している野菜は保冷出来ません。野菜を入れる場合は、必ず密封容器に入れるか食品用ラップフィルムに包んで密封してから貯蔵してください。

保冷できないものについて (上記以外のもの全て)

【参考例】

●味噌



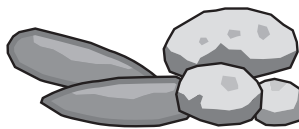
●漬け物



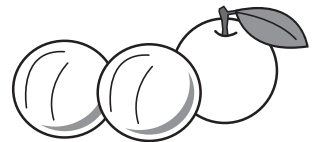
●腐食性の食物

(食塩、タマゴ、マヨネーズ、梅干し、ニンニク
大豆、キノコ類、魚介類、切り干し大根、薬品、
肥料 等)

●いも類



●柑橘類



保冷できないものを入れて使用した場合、冷蔵ユニットが故障することがあります。
保冷できないものを入れた場合は保証対象外となります。
保冷できないものについては保存容器の気密性の優劣に依らず、入れないでください。
貯蔵庫の近くには、肥料など金属を腐食させるものを置かないでください。
冷蔵ユニットが故障することがあります。